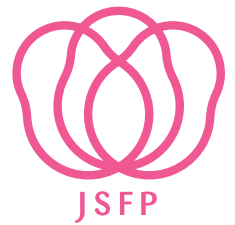


# 20周年記念誌

# 一般社団法人日本転倒予防学会

The Japanese Society for Fall Prevention



# 目次

|                                          |    |
|------------------------------------------|----|
| ■ 代表理事挨拶 .....                           | 1  |
| ■ ご祝辞 .....                              | 2  |
| ■ 歴代役員等一覧 .....                          | 4  |
| ■ これまでそしてこれから .....                      | 6  |
| ● 発足～研究会～学会～法人化 .....                    | 6  |
| ● 研究集会 .....                             | 10 |
| ● 学術集会 .....                             | 11 |
| ● 委員会活動 .....                            | 18 |
| ● 機関誌，書籍，その他の刊行 .....                    | 23 |
| ● 教育，啓発，人材育成                             |    |
| (1) 転倒予防指導者養成講座から転倒予防指導士<br>基礎講習会へ ..... | 27 |
| (2) 顕彰 .....                             | 28 |
| (3) 日本転倒予防学会転倒予防川柳入選作品 .....             | 30 |
| (4) 推奨品一覧 .....                          | 31 |
| ■ 登録関係 .....                             | 32 |
| ■ 編集後記                                   |    |



## シンボルに込めた思い

ゆらいでも決して倒れない「起き上がりこぼし」をモチーフとして、しなやかな安定感と活力を表現しています。

ゆらぎの造形は美しく咲く花にも通じ、転倒予防で人生が明るく美しく花開く様相を象徴します。シンメトリカルな安定感あるフォルムは、JSFPの組織的な強さと多様性をも表現しています。

2014 年

シンボルマークデザイン：株式会社中西元男事務所（PAOS）

## 表紙写真（左上から）

- 1996 年 健脚度測定風景（長野県北御牧村，現東御市）
- 2006 年 巡回型介護予防事業における健脚度測定（島根県雲南市）
- 2000 年 一日転倒予防教室（横浜を皮切りに4年間全国行脚）
- 2005 年 第2回研究集会看板（京都府医師会館）
- 2013 年 第10回研究集会シンポジウム（東京大学伊藤国際学術研究センター）
- 2014 年 学会発足式での第1回～第6回会長予定者（東京都，学士会館）
- 2014 年 第1回学術集会看板（東京大学伊藤国際学術研究センター）
- 2024 年 20周年記念式典（佐賀市ホテルニューオータニ佐賀 於：第11回学術集会）



萩野 浩

一般社団法人  
日本転倒予防学会  
代表理事

独立行政法人労働者健康  
安全機構山陰労災病院  
病院長

日本転倒予防学会は、2004年4月に「転倒予防医学研究会」として発足し、10年間の活動を経て2014年4月に「日本転倒予防学会」として正式に設立されました。そして、このたび20周年という節目を迎えることができました。これもひとえに、会員の皆様をはじめ、多くの方々のご支援とご尽力の賜物です。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

人が成長する過程において、初めて立ち上がるまで転ぶことはありませんが、その後、何度も転倒を繰り返しながら自分の足で歩き始め、やがて成長していきます。本学会もまた、これまでの20年間に於いて多くの挑戦を重ね、転倒や挫折を乗り越えながら発展を遂げてきました。設立当初の会員数は258名でしたが、現在では1,468名にまで増加し、学会活動の規模や影響力も拡大しています。

一方、この20年間で、わが国は急速に高齢化が進みました。2007年には65歳以上の人口割合が21%を超え、超高齢社会に突入しました。そして2024年には29.3%という過去最高を記録しています。これは、私たち日本人が長寿という夢を世界に先駆けて実現していることを示しています。しかしながら、この「長寿」の実現には新たな課題も伴っています。そのひとつが転倒や骨折です。介護が必要となる主な要因の12%を骨折・転倒が占めており、転倒は健康寿命を短縮させる大きな要因となっています。また、病院や施設での転倒、さらには高齢化が進む労働現場における転倒事故も深刻な問題となっており、労災事故全体の約4分の1を転倒が占めるまでになっています。

これからの20年間、私たちはさらに高齢化が進む社会に直面することになります。90歳を超えて独居生活を送る高齢者が珍しくなくなるだけでなく、2007年生まれの日本人の半数が107歳まで生きると予想される時代です。その結果、転倒や骨折の発生が増加し、健康寿命の延伸が一層重要な課題となるでしょう。

本学会では、これまで数多くのユニークな転倒予防や骨折予防の取り組みを発表してきました。これらの知見は臨床の現場で応用され、多くの成果を挙げています。また、近年では高齢化が進むアジア諸国においても、転倒予防への関心が高まっています。本学会が培ってきた知識と技術は、国内だけでなく国際的にも貢献できるポテンシャルを持っており、新たな転倒予防対策の開発は、輸出可能なビジネスの創出にもつながると期待されています。

20周年という節目に立ち、本学会はこれからも社会のニーズに応えながら、さらに大きく成長していく所存です。会員の皆様をはじめ、多くの関係者の方々と力を合わせ、日本国内のみならずアジア諸国の健康寿命延伸に寄与できるよう、全力で取り組んでまいります。

2025（令和7）年4月吉日



武藤 芳照

一般社団法人  
日本転倒予防学会  
名誉会員  
初代理事長

一般社団法人東京健康  
リハビリテーション総  
合研究所代表理事 / 所  
長  
東京大学 名誉教授

本学会 20 周年、ご同慶の至りである。人而言えば、成人式を無事に迎えることができたお祝いを共にできることであり、誠に幸せと思う。

2004 年に、本学会の前身である「転倒予防医学研究会」を発足、2014 年にその活動を基盤に「日本転倒予防学会」へと発展、次いで「一般社団法人日本転倒予防学会」に進化した。まさしく小児期、思春期を経て、成人となる人の生涯のような軌跡をたどって今日に至っている。

本学会の 2 大事業は、(1) 学術研究、(2) 社会啓発である。転倒予防に関する研究を深めるとともに、社会啓発活動を展開して、国民の転倒予防への意識を広め、介護予防ひいては健康社会づくりに貢献することを基本理念としている。

とりわけ社会啓発については、(1)「転倒予防の日」(10 月 10 日)の制定、(2)シンボルマークの制定、(3)「転倒予防川柳」の公募・顕彰、(4)『転倒予防いろはかるた』の製作、(5)教育・社会啓発書籍の出版、(6)転倒予防指導士の養成、(7)各地域での転倒予防の講演・セミナー・フォーラムの開催、(8)転倒予防の啓発標語の作成、などの多彩な事業を展開してきた。

学術集会(研究会当時は、研究集会)には、毎回各界の著名人に特別講演にご登壇いただき、それをご縁に、多くの講師には名誉会員として参画願っている。

こうした企画の要点は、「言葉のチカラ」である。川柳、カルタ、標語などにより、社会の意識を変え、行動を変え、習慣を変えることを目指し、みんなの知恵と感性で、実に独創的で面白い言葉が数多く生み出されてきた。

これらの協働事業を全国規模でコツコツ(骨々)と継続できたのは、本学会が多職種連携(ムトウ派)の構成員で運営されてきたこと、学会ではお互いに「(~先生ではなく)さんづけ」で呼び合うようなアカデミックかつアットホームな雰囲気を大切にしてきたこと、膨大な事務局業務をいつも明るく笑顔でこなしてくれた有能なスタッフ(研究会:芦田由可里さん、学会:甲斐美和子さん・和方明日美さんら)に支えられてきたおかげである。

「人生は縁と運、そして恩」が、私の座右の銘であるが、本学会の最大の功績は、数えきれないほど数多くの出会いの機会と場を提供してきたことであろう。これからの 20 年も、さらに多くの面白い出会いが生まれることを切に希望している。



## 立川 厚太郎

一般社団法人  
日本転倒予防学会  
名誉会員  
社会福祉法人新潟県  
身体障害者団体連合  
会理事長

学会 20 周年を迎え、心からお祝い申し上げます。初代理事長の武藤芳照さんからお誘いいただき、2004 年 1 月 10 日、一橋如水会館における第 1 回「高齢者の痴呆と転倒・骨折に関する研究プロジェクト」に参加させていただいた。痴呆を認知症と言っていない時代に研究プロジェクトが発足し、その先見性に改めて驚いている。

同年 10 月 10 日「転倒予防の日」に京都府医師会館にて「転倒予防医学研究会第 1 回研究集会」が開催された。特別講演講師として女優の水谷八重子さんが招かれ「懲りるということ」と題して講演された。自由な雰囲気の中でいろいろな立場や職種を越えた学術研究、実践的な取り組みや実体験、企業からの研究など、現在社会的問題となっている認知症高齢者の転倒・骨折、そして医療・福祉・行政にまたがる問題を幅広く取り上げ、ほかの学会の学術集会とは異なり、大変印象深い研究集会であった。

第 2 回の京都を経て、第 3 回からは東京をはじめ各地方での開催となり、特別講演を楽しみとしながら各地の郷土料理も堪能した。

そして研究会は学会になり、研究集会は学術集会へと名を変えた第 6 回新潟では、山本智章さんと会長を務めさせていただいた。学士会館での理事会は貴重な経験となった。

如水会館でのプロジェクト参加、京都での第 1 回研究集会参加から、現在は名誉会員を拝承し、感謝の思いでいっぱいである。今後、学会の益々のご発展と会員のさらなる向上を祈念しご挨拶とさせていただきます。



## 原田 敦

一般社団法人  
日本転倒予防学会  
名誉会員  
医療法人卓介護老人  
保健施設キューオー  
エル

日本転倒予防学会が 20 周年記念を晴れて迎えることができ、これほど嬉しく喜ばしいことはない。心からお祝いの言葉をお届けするとともに、この機会を与えてくださった学会幹部の皆様へ厚く御礼申し上げます。

当会の前身である研究会が発足する数年前の、初代理事長武藤芳照さんへの訪問が、研究会に深く関わるようになったきっかけであり決して忘れることはできない。

当時は、ちょうど、私が長寿医療のテーマとして掲げた骨折予防策としてヒッププロテクター研究を現監事の奥泉宏康さんと継続し、論文化したところである。東大にある武藤さんの研究室を見学したところ、武藤さんは転倒予防教室を成功され、次のステップ、すなわち、転倒予防研究普及のための学術団体立上げを、燃える目で理路整然とかつ実践先行で準備邁進されていた。その情景は昨日のように脳裏に鮮やかに蘇る。

それ以降、研究会 10 年そして学会 10 年と転倒学に関わり続けることができて、幸せな研究者人生だったと改めて感じ入る。

さて、わが国はすでに超高齢社会のど真ん中だが、これから本学会に対するニーズは本番となる。前世紀には転倒や外傷を予防できるはずなどないという世間の固定概念が根強くあったが、それぞれ可能とエビデンスをもって標準化されたのは素晴らしい成果である。今後も、本学会が、転倒学として包括される幅広い対象、内容に益々発展的に関与し、予防だけでなく転倒全体についての学問に昇華され、ガイドラインなどで社会に貢献し続けることを切望する次第である。

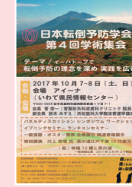
# 歴代役員等一覧

|           | 在任期間中の最終役職                                          | 2004  | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022   | 2023   | 2024 |
|-----------|-----------------------------------------------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|--------|------|
| 石井 幹子     | 照明デザイナー                                             |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 名誉会員 |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 永 六輔      | 放送タレント                                              |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 名誉会員 |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 岡本 永司     | 真言宗豊山派大本山護国寺貫首                                      |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 名誉会員 |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 成田 真由美    | パラリンピック競泳金メダリスト／2020年東京オリンピック・パラリンピック競泳大会組織委員会理事    |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 名誉会員 |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 平野 啓子     | 語り部・かたりすと・元NHKキャスター                                 |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 名誉会員 |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 水谷 八重子    | 女優、歌手、エッセイスト                                        |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 名誉会員 |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 山田 洋次     | 映画監督                                                |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 名誉会員 |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 杉岡 洋一     | 九州大学名誉教授                                            | 世話人   |      |      | 顧問   |      |      |      |      |      |      | 名誉会員 |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 田島 直也     | 宮崎大学名誉教授                                            | 世話人   |      |      | 顧問   |      |      |      |      |      |      | 名誉会員 |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 山本 博司     | 高知大学名誉教授                                            | 世話人   |      |      | 顧問   |      |      |      |      |      |      | 名誉会員 |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 武藤 芳照     | 一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所代表理事・所長／東京大学名誉教授            | 世話人代表 |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 理事長  |      |      |      |      |      |      |      | 名誉会員   |        |      |
| 鈴木 隆雄     | 桜美林大学大学院特任教授                                        | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      | 名誉会員   |        |      |
| 立川 厚太郎    | 社会福祉法人新潟県身体障害者団体連合会理事長                              | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      | 名誉会員   |        |      |
| 原田 敦      | 医療法人卓介護老人保健施設キューオーエル                                | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      | 名誉会員   |        |      |
| 鈴木 みずえ    | 浜松医科大学臨床看護学講座 教授／看護師                                | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 副理事長 |      |      |      |      |      |      |      | 副代表理事  |        |      |
| 萩野 浩      | 独立行政法人労働者健康安全機構山陰労災病院病院長                            | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      | 代表理事   |        |      |
| 岡田 真平     | 公益財団法人身体教育医学研究所所長／健康運動指導士                           | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      | 業務執行理事 |        |      |
| 上岡 洋晴     | 東京農薬大学大学院環境共生学専攻教授                                  | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      | 理事     |        |      |
| 上内 哲男     | 独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）東京新宿メディカルセンターリハビリテーション室理学療法士長 | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      | 理事     |        |      |
| 征矢野 あや子   | 京都橘大学看護学部・大学院看護学研究科教授／看護師                           | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      | 評議員  |      |      |      |      |      | 理事     |        |      |
| 泉泉 宏康     | 上田市武石診療所所長／整形外科医師                                   | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      | 監事     |        |      |
| 高杉 紳一郎    | 佐賀整肢学園こども発達医療センター副院長／整形外科医師                         | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      | 代議員    |        |      |
| 橋口 知      | 鹿児島大学学術研究院法文教育学域教育学系教授／精神科医師                        | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      | 代議員    |        |      |
| 黒柳 律雄     | 医療法人慶成会ようりランド慶友病院診療部長                               | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員    |        |      |
| 小松 泰喜     | 日本大学スポーツ科学部競技スポーツ学科教授／理学療法士                         | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員    |        |      |
| 立入 克敏     | 医療法人たちいり整形外科会長／整形外科医師                               | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員    |        |      |
| 安田 彩      | 日本大学病院リハビリテーション室                                    | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員    |        |      |
| 大淵 修一     | 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所研究部長                        | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員    |        |      |
| 小田島 由生子   | わたしはひつじ代表                                           | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員    |        |      |
| 太田（福島）美穂  | NPO 法人水と健康スポーツ医学研究所／fクリニックさっぽろ理事長／副院長               | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 田中 英一     | 名古屋大学大学院工学研究科機械理工学専攻教授                              | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 中西 和仁     | 中西耳鼻咽喉科院長                                           | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 小原 淳      | 独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）東京新宿メディカルセンター薬剤部部長            | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 木村 明彦     | 整形外科医師                                              | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 中島 八十一    | 国立身体障害者リハビリテーションセンター学院長                             | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 渡邊 美隆     | セントラルクリニック理事                                        | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 上野 勝則     | 東京厚生年金病院健康管理センター人間ドッグ担当部長                           | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 足澤 輝夫     | 足澤放射線科院長                                            | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 永島 正紀     | 聖徳大学文学部児童学科教授                                       | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 村嶋 幸代     | 東京大学大学院医学系研究科教授                                     | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 長谷川 亜弓    | 東京大学大学院教育学研究科リサーチフェロー                               | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 長谷川 伸     | 東京厚生年金病院整形外科                                        | 世話人   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 高橋 一男     | 岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課上席スポーツ医・科学専門員アスレティックレナー            |       | 世話人  |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      |        | 代議員    |      |
| 桂川 保彦     | 株式会社スポーツデザイン研究所首席研究員                                |       | 世話人  |      |      |      |      |      |      |      |      | 監事   |      |      |      |      |      |      |      |        | 監事     |      |
| 望月 浩一郎    | パークス法律事務所／弁護士                                       |       | 世話人  |      |      |      |      |      |      |      |      | 監事   |      |      |      |      |      |      |      |        | 監事     |      |
| 岡山 慶子     | 株式会社朝日エール会長                                         |       | 世話人  |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員    |        |      |
| 半田 一登     | 社団法人日本理学療法士協会会長                                     |       | 世話人  |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員    |        |      |
| 大関 真理子    | 公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団事業部部長                      |       | 世話人  |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 北村 正之     | リンゴブックス代表                                           |       | 世話人  |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 山田 澄代     | サン・ビーム株式会社代表取締役                                     |       | 世話人  |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 江夏 亜希子    | ウィミズ・ウェルネス診療クリニック産婦人科医                              |       | 世話人  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 大高 洋平     | 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座主任教授／リハビリテーション科医師             |       |      | 世話人  |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      |        | 副代表理事  |      |
| 桑野 慎一郎    | ゆずの木クリニック院長                                         |       | 世話人  |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 北瀬口 純     | 雲南市健康福祉部身体教育医学研究所うなん副所長・専門官／管理研究員／健康運動指導士           |       |      |      |      | 世話人  |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      |        | 理事     |      |
| 山田（永滝）有希子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）東京新宿メディカルセンター図書室司書            |       |      |      |      | 世話人  |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      |        | 代議員    |      |
| 菅 栄一      | 管整形外科皮膚科クリニック院長                                     |       |      |      |      |      | 世話人  |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      |        | 名誉会員   |      |
| 藤末 洋      | 医療法人社団慈敬会藤末医院理事長／一般社団法人川西市医師会名誉会長                   |       |      |      |      |      | 世話人  |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      |        | 代議員    |      |
| 磯崎 かなめ    | 認知症看護認定看護師                                          |       |      |      |      |      |      | 世話人  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 山本 創太     | 芝浦工業大学デザイン工学部デザイン工学科教授                              |       |      |      |      |      |      |      | 世話人  |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      |        | 理事     |      |
| 山田 実      | 筑波大学人間系教授／理学療法士                                     |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      |        | 理事     |      |
| 石川 正恒     | 洛和ヴァイリオス／洛和会音羽病院正常圧水頭症センター施設長／所長                    |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      |        |        |      |
| 渡邊 洋      | 渡辺整形外科院長／整形外科医師                                     |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |      |      |      |      |      |        | 理事     |      |
| 梅原 里実     | 高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科教授／認知症看護認定看護師                     |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      | 理事   |      |      |      |      |      |        | 業務執行理事 |      |
| 山本 智章     | 医療法人 愛広会新潟リハビリテーション病院院長／整形外科医師                      |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      | 理事   |      |      |      |      |      |        | 理事     |      |

|        | 在任期間中の最終役職                                                         | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|--------|--------------------------------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 渡邊 進   | 社会医療法人寿量会熊本機能病院副院長／<br>神経内科医師                                      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      | 理事   |      | 理事   |      |      |
| 菅 義行   | 菅整形外科医院院長／整形外科医師                                                   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      | 理事   |      | 理事   |      |      |
| 泉 キヨ子  | 帝京科学大学医療科学部看護学科医療科学<br>部長／教授                                       |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |      |      |
| 内田 泰彦  | 医療法人三愛健康リハビリテーション内田<br>病院院長                                        |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |      |      |
| 小川 純人  | 東京大学大学院医学系研究科老年病学教授                                                |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |      |      |
| 島田 裕之  | 国立研究開発法人国立長寿医療研究セン<br>ター研究所老年学・社会科学研究センタ－<br>センター長                 |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |      |      |
| 杉山 良子  | パラマウントベッド株式会社顧問                                                    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |      |      |
| 田中 敬明  | 東京大学先端科学技術研究センター・東京<br>大学高齢社会総合研究機構シニアプログラ<br>ムアドバイザー（特任研究員）／理学療法士 |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |      |      |
| 二瓶 美里  | 東京大学大学院情報理工学系研究科知能機<br>械情報学専攻教授                                    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |      |      |
| 朴 炫泰   | 韓国東亜大学校対外国際交流所長                                                    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |      |      |
| 森田 光生  | 千葉大学医学部附属病院リハビリテーショ<br>ン科療法士長                                      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |
| 川村 治子  | 杏林大学救急救命学科名誉教授／医師                                                  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |      |      |
| 金 憲経   | 地方独立行政法人東京都健康長寿医療セン<br>ター研究所研究副部長                                  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
| 金森 雅夫  | 羽衣国際大学人間生活学部食物栄養学科特<br>別教授／医師                                      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      | 理事   |      |      |      | 理事   |      |      |
| 村山 明彦  | 群馬医療福祉大学リハビリテーション学部<br>理学療法専攻准教授                                   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      | 理事   |      |      |
| 鮫島 直之  | 国家公務員共済組合連合会東京共済病院脳<br>神経外科部長／脳神経外科医師                              |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      | 理事   |      |      |      | 理事   |      |      |
| 餐場 郁子  | 独立行政法人国立病院機構東名古屋病院院長                                               |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      | 理事   |      |      | 理事   |      |      |
| 平松 知子  | 金沢医科大学看護学部教授                                                       |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      | 理事   |      |      | 理事   |      |      |
| 加藤 真由美 | 金沢大学医薬保健研究域保健学系教授                                                  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      | 理事   |      |      | 理事   |      |      |
| 天野 力郎  | 国民健康保険富士吉田市立病院副院長                                                  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      | 代議員  |      |      |
| 近藤 和泉  | 国立研究開発法人国立長寿医療研究セン<br>ター 病院長／医師                                    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  | 理事   |      |      |      | 理事   |      |      |
| 立入 久和  | 医療法人たちいり整形外科理事長・院長                                                 |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      | 理事   |      |      | 理事   |      |      |
| 黒川 美知代 | 日本赤十字社医療事業推進本部 医療の質・<br>研修部参事                                      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      | 理事   |      |      |
| 松本 浩実  | 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部<br>理学療法学科講師                                    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      | 代議員  |      |      |
| 杉山 智子  | 順天堂大学大学院医療看護学研究科准教授<br>／看護師・保健師                                    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      | 代議員  |      |      |
| 安延 由紀子 | 大阪保健医療大学保健医療学部リハビリテ<br>ーション学科助教                                    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |
| 横田 慎一郎 | 東京大学医学部附属病院特任講師／看護師・<br>保健師                                        |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      |      |      |      |      |
| 大坂 裕   | 川崎医療福祉大学医療技術学部<br>リハビリテーション学科講師                                    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      | 代議員  |      |      |
| 藤田 正明  | 医療法人財団尚温会伊予病院院長                                                    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      | 代議員  |      |      |
| 小林 吉之  | 国立研究開発法人産業技術総合研究所 人間<br>拡張研究センター 運動機能拡張研究チーム<br>研究チーム長             |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      | 理事   |      |      |
| 杉本 真理子 | 医療法人社団朋和西広島リハビリテー<br>ション病院副院長看護介護部部長                               |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      |      | 代議員  |      |      |
| 山田 茂樹  | 名古屋市立大学医学部脳神経外科学准教授                                                |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      | 理事   |      |      |
| 尾崎 まり  | 鳥取大学医学部附属病院リハビリテーショ<br>ン部部長／准教授／リハビリテーション科<br>科長                   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      | 代議員  | 理事   |      |
| 山崎 薫   | 磐田市立総合病院病院長                                                        |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      | 代議員  |      |      |
| 金澤 悟   | 有限会社堀野調剤薬局専務取締役                                                    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  |      | 代議員  |      |      |
| 伊藤 安海  | 山梨大学大学院教授                                                          |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  | 代議員  |      |      |
| 今釜 史郎  | 名古屋大学医学部整形外科科学教授                                                   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  | 代議員  |      |      |
| 油野 規代  | 学校法人新田塚学園福井医療大学保健医療<br>学部看護学科准教授                                   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  | 代議員  |      |      |
| 牧迫 飛雄馬 | 鹿児島大学医学部保健学科理学療法専攻<br>基礎理学療法学講座教授                                  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  | 理事   |      |      |
| 村山 拓也  | 新潟リハビリテーション病院リハビリテー<br>ション部作業療法科主任                                 |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  | 代議員  |      |      |
| 浅見 豊子  | 医療法人安寿会田中病院理事長<br>佐賀大学医学部臨床教授                                      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  | 理事   |      |
| 今枝 秀二郎 | 株式会社日建設計総合研究所研究員                                                   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  | 代議員  |      |
| 篠原 靖司  | 立命館大学教授                                                            |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  | 代議員  |      |
| 高山 かおる | 一般社団法人足育研究会医療部会代表理事                                                |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 評議員  | 代議員  |      |
| 鎌田 博司  | 医療法人社団哺育会笠桶病院看護科長                                                  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |
| 仲島 圭将  | 大阪大学大学院医学系研究科特任研究員                                                 |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |
| 牧野 真弓  | 浜松医科大学臨床看護学講座老年看護学講<br>師                                           |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |
| 射場 靖弘  | 鳥取大学医学部附属病院作業療法士                                                   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |
| 内山 晶代  | 浜松医科大学健康社会医学講座教務補佐                                                 |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |
| 谷口 直史  | 山梨大学附属病院講師                                                         |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |
| 田中 雅博  | 社会医療法人三和会りんくう永山病院リハ<br>ビリテーション科部長                                  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |
| 山内 希世  | 国家公務員共済組合連合会東京共済病院医<br>療安全対策室師長                                    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |
| 杉浦 太紀  | 株式会社 MagicShields 取締役 COO                                          |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |
| 水野 幸治  | 名古屋大学大学院工学研究科機械システム<br>工学専攻教授                                      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |
| 伊藤 由貴  | 株式会社朝日エール代表取締役                                                     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 代議員  |

|               |                             |                                                                    | 1995～                                                                                                          | 1997～                                                                                                   | 2000                                        | 2001～                                              | 2004                                                                                                                       | 2005                                                       |
|---------------|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 組織体制          |                             |                                                                    |                                                                                                                |                                                                                                         |                                             |                                                    | 転倒予防医学研究会<br>2004 春 発足                                                                                                     |                                                            |
| 事務局           |                             |                                                                    |                                                                                                                |                                                                                                         |                                             |                                                    | 東京都中央区築地ちとせビル<br>株式会社朝日エル内に事務局設置                                                                                           |                                                            |
| 当会の目的達成のための事業 | (1) 学術集会                    |                                                                    |                                                                                                                |                                                                                                         |                                             |                                                    | 第1回<br>研究集会 (京都)                                                                                                           | 第2回<br>(京都)                                                |
|               |                             | 研究集会<br>⇒学術集会                                                      |                                                                                                                |                                                                                                         |                                             |                                                    |                                                                                                                            |                                                            |
|               | (2) 機関誌、図書その他の刊行            | 機関誌<br>(編集委員会)                                                     |                                                                                                                |                                                                                                         |                                             |                                                    | 研究集会報告 (第1回)<br>Osteoporosis Japan<br>(2005.1号) 掲載                                                                         | 研究集会 Highlight (第2回)<br>Osteoporosis Japan<br>(2006.1号) 掲載 |
|               |                             | 書籍                                                                 |                                                                                                                | 1999.12月『転倒<br>予防教室—転倒予<br>防への医学的対応—』                                                                   | 2001年『武藤教<br>授の転ばぬ教室—<br>寝たきりにならな<br>いために—』 | 2002年12月<br>『転倒予防教室<br>—転倒予防への<br>医学的対応—』<br>(第2版) |                                                                                                                            |                                                            |
|               |                             | ホームページ<br>(広報委員会)                                                  |                                                                                                                |                                                                                                         |                                             |                                                    |                                                                                                                            | ホームページ開設                                                   |
|               |                             | その他刊行<br>主な刊行<br>(連載等)                                             |                                                                                                                | 1997.11/8 前年ま<br>での疫学調査の研<br>究成果を『日本医<br>事新報』に発表                                                        |                                             |                                                    |                                                                                                                            | 「10月10日は転倒予防の日」<br>新聞広告掲載開始                                |
|               | (3) 転倒とその予防に関する教育・啓発および人材育成 | 転倒予防教室<br>↓<br>転倒予防指導者養成講座<br>↓<br>転倒予防指導士基礎講習会<br>(教育研修委員会)       |                                                                                                                | 1997.12月「転倒<br>予防教室」開催<br>(東京厚生年金病<br>院内)                                                               | 2月「1日転倒予<br>防教室」横浜を皮<br>切りに、全国各地<br>で開催     | 12月指導者養<br>成講習会開始                                  | 2004 (平成16) 年3月ま<br>での「教室」修了者は、全国各<br>地から400名を超える<br>(～2004年6月までに、40回<br>の巡回指導)<br>→ 計5回開催 (この内<br>2回は財団法人厚生年金事業<br>振興団主催) | 第1回転倒予防指導者養成講<br>座 (盛岡)<br>第2回 (宮崎)<br>                    |
|               |                             | 顕彰<br>転倒予防大賞 (研究会)<br>⇒学術賞 (学会)<br>⇒各賞 (法人化後)<br>転倒予防川柳<br>(広報委員会) |                                                                                                                |                                                                                                         |                                             |                                                    |                                                                                                                            | 転倒予防大賞 2005                                                |
|               |                             | 推奨品<br>※新規認定のみ記載<br>(事業委員会)                                        |                                                                                                                |                                                                                                         |                                             |                                                    |                                                                                                                            |                                                            |
|               |                             | その他 (公開講座、協力事業等)                                                   |                                                                                                                |                                                                                                         |                                             |                                                    | 11/9「119の日」<br>「転倒予防119番」の開設<br>(2回)                                                                                       | 「転倒予防119番」の開設<br>(2回)                                      |
|               | (4) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業 | 学術研究                                                               | 1995 島根県吉田村<br>1996 長野県北御牧村 (現<br>東御市)<br><br>においてフィールドワーク<br>(疫学調査: 厚生省 (当時)<br>長寿科学総合研究事業「健<br>脚度」の科学的有用性確認) | 高齢者の転倒予防<br>プログラムシステ<br>ムの構築作業開始<br>(東京大学大学院<br>身体教育学講座、<br>東京厚生年金病<br>院、身体医学研究<br>所 (東御市) の研<br>究グループ) |                                             |                                                    |                                                                                                                            |                                                            |
|               |                             | 登録 (商標登録) 他                                                        |                                                                                                                |                                                                                                         |                                             |                                                    | 3/5 登録商標認定<br>「健脚度」<br>「スミちゃん」<br>「転倒予防教室」デザイン文字                                                                           | 8/22 記念日登録<br>「10月10日は転倒予防の日」<br>スミちゃんグッズ制作                |

| 2006                                                                                                            | 2007                                                                                                              | 2008                            | 2009                    | 2010                                                                                                                             | 2011                                                                                                                      | 2012                                                                                                                    | 2013                                                                                                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会員制（会費 5,000 円 / 年）へ移行                                                                                          |                                                                                                                   |                                 |                         |                                                                                                                                  | 会員登録を自動更新制へ                                                                                                               |                                                                                                                         |                                                                                                                       |
| 第 3 回<br>(東京)                                                                                                   | 第 4 回<br>(京都)<br><br>書籍販売（第 4 回） | 第 5 回<br>(東京)                   | 第 6 回<br>(東京)           | 第 7 回<br>(東京)<br><br>質疑応答（第 7 回）                | 第 8 回<br>(東京)<br><br>パネルディスカッション（第 7 回） | 第 9 回<br>(東京)<br><br>ポスター発表会場（第 9 回） | 第 10 回<br>(東京)                                                                                                        |
|                                                                                                                 | 研究会 Highlight（第 4 回）<br>Osteoporosis Japan<br>(2008.3 号) 掲載                                                       | 準機関誌<br>『身体教育医学研究』<br>毎年 1 号発行  |                         |                                                                                                                                  |                                                                                                                           |                                                                                                                         |                                                                                                                       |
| 『高齢者指導に役立つ「転倒予防の知識と実践プログラム」』<br>小冊子『転ばぬ先の知恵』                                                                    |                                                                                                                   | 『転倒予防医学百科』                      | 『転倒予防らくらく実践ガイド』         | 『ここまでできる高齢者の転倒予防』                                                                                                                | 『認知症者の転倒予防とリスクマネジメント』                                                                                                     | 『転倒予防いろはかるた』                                                                                                            | 『転倒予防—転ばぬ先の杖と知恵』<br>『いくつになっても「転ばない」5つの習慣』                                                                             |
| <br>2005 年新聞広告                |                                                                                                                   |                                 |                         | <br>2013 年新聞広告                                | 2005～2018<br>毎年、10月10日「転倒予防の日」に掲載                                                                                         |                                                                                                                         |                                                                                                                       |
| 第 3 回（東京）<br><br>質疑応答（第 3 回） | 第 4 回（湯布院）<br>第 5 回（東京）<br>第 6 回（札幌）                                                                              | 第 7 回（東京）<br>第 8 回（神戸）          | 第 9 回（浜松）<br>第 10 回（東京） | 第 11 回（東京）<br>第 12 回（米子）<br><br>修了証授与（第 12 回） | 第 13 回（熊本）<br>第 14 回（東京）                                                                                                  | 第 15 回（東京）<br>第 16 回（佐久）                                                                                                | 第 17 回（広島）<br><br>創作体操発表（第 17 回） |
| 転倒予防大賞 2006                                                                                                     | 転倒予防大賞 2007                                                                                                       | 転倒予防大賞 2008                     | 転倒予防大賞 2009             | 転倒予防大賞 2010                                                                                                                      | 転倒予防大賞 2011                                                                                                               | 転倒予防大賞 2012                                                                                                             | 転倒予防大賞 2013                                                                                                           |
|                                                                                                                 |                                                                                                                   |                                 |                         |                                                                                                                                  | 『転倒予防川柳 2011』                                                                                                             | 『転倒予防川柳 2012』                                                                                                           | 『転倒予防川柳 2013』                                                                                                         |
|                                                                                                                 |                                                                                                                   | 高齢者用おむつ（1社）<br>杖（1社）            |                         |                                                                                                                                  |                                                                                                                           | くつ下（1社）<br>ヒッププロテクター（1社）                                                                                                | 床材（1社）<br>栄養食品（1社）<br>ヒッププロテクター（+1社）<br>緊急通報サービス（1社）                                                                  |
| （岩手県二戸郡）カシオペア転倒予防教室への協力始まる                                                                                      |                                                                                                                   | セミナー開催<br><br>12月「転倒予防カルタ」読み句公募 |                         | 「転倒予防フォーラム 岩手 2010」                                                                                                              | 以降、原則毎年開催（震災、コロナ禍除く）                                                                                                      | 9/21「第 1 回富士北麓転倒予防講演会」への協力始まる                                                                                           | 9/29「市民健康セミナー」                                                                                                        |
|                                                                                                                 |                                                                                                                   |                                 |                         |                                                                                                                                  |                                                                                                                           |                                                                                                                         |                                                                                                                       |
| 「運動器の 10 年」日本委員会参加団体加入                                                                                          |                                                                                                                   |                                 |                         |                                                                                                                                  |                                                                                                                           |                                                                                                                         |                                                                                                                       |

|                                                              |                                      | 2014                                                                                                                                                      | 2015                                                                                                | 2016                                                                                                | 2017                                                                                                 | 2018                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 組織体制                                                         |                                      | 日本転倒予防学会（任意団体）The Japanese Society for Fall Prevention (JSFP) 4/1 発足<br> | <br>2014.3/23 朝日新聞 |                                                                                                     | 4 月会員管理業務委託開始（新システム）                                                                                 |                                                                                                      |
| 事務局                                                          |                                      | 1/6 株式会社朝日エルの移転に伴い<br>築地 MF ビルへ事務局移転                                                                                                                      |                                                                                                     |                                                                                                     |                                                                                                      |                                                                                                      |
| 研究会<br>⇒学術集会                                                 |                                      | 第 1 回<br>学術集会<br>(東京)<br><br>ポスター<br>                                    | 第 2 回<br>(京都)<br>  | 第 3 回<br>(名古屋)<br> | 第 4 回<br>(岩手)<br> | 第 5 回<br>(浜松)<br> |
| 機関誌<br>(編集委員会)                                               |                                      | 6 月「日本転倒予防学会誌」<br>Japanese Journal of Fall Prevention (JJFP) 創刊<br>毎年 3 号発行（2 号は、学術集会プログラム・抄録集）                                                           |                    |                                                                                                     |                                                                                                      |                                                                                                      |
| 書籍                                                           |                                      | 「「転ばぬ体操」で 100 歳まで動ける！」<br>「認知症者の転倒予防とリスクマネジメント」（第 2 版）<br>               | 「転倒予防白書 2016」<br>「多職種で取り組む転倒予防チームはこう作る！」<br>「五七五 転ばぬ先の知恵ことば 転倒予防川柳 2011-15」                         |                                                                                                     | 「日本転倒予防学会認定転倒予防指導士公式テキスト Q & A」<br>「認知症者の転倒予防とリスクマネジメント」（第 3 版）                                      |                                                                                                      |
| その他刊行                                                        | ホームページ<br>(広報委員会)                    | ホームページ<br>全面リニューアル                                                                                                                                        |                                                                                                     |                                                                                                     |                                                                                                      |                                                                                                      |
|                                                              | 主な刊行<br>(連載等)                        | 「10 月 10 日は転倒予防の日」新聞広告<br><br>「10 周年記念誌」                                                                                                                  | 浄土宗新聞 10 回連載「転ばぬ先の知恵」                                                                               |                                                                                                     |                                                                                                      | 新聞赤旗連載 14 回「知って安心転倒予防」                                                                               |
| 転倒予防教室<br>↓<br>転倒予防指導者養成講座<br>↓<br>転倒予防指導士基礎講習会<br>(教育研修委員会) |                                      |                                                                                                                                                           | 第 1 回転倒予防指導士基礎講習会（東京）                                                                               | 第 2 回（東京）<br>第 3 回（京都）<br>養成講座修了者の指導士への移行措置                                                         | 第 4 回（東京）<br>第 5 回（京都）<br>転倒予防指導士活動推奨事業開始<br>(事業委員会<br>教育研修委員会)                                      | 第 6 回（東京）<br>第 7 回（京都）                                                                               |
| 顕彰                                                           | 転倒予防大賞（研究会）<br>⇒学術賞（学会）<br>⇒各賞（法人化後） |                                                                                                                                                           | 第 1 回優秀論文賞，若手研究奨励賞                                                                                  | 第 2 回優秀論文賞，若手研究奨励賞                                                                                  | 第 3 回優秀論文賞，若手研究奨励賞                                                                                   | 第 4 回優秀論文賞，（若手研究奨励賞：該当者なし）                                                                           |
|                                                              | 転倒予防川柳<br>(広報委員会)                    | 「転倒予防川柳 2014」                                                                                                                                             | 「転倒予防川柳 2015」                                                                                       | 「転倒予防川柳 2016」                                                                                       | 「転倒予防川柳 2017」                                                                                        | 「転倒予防川柳 2018」                                                                                        |
| 推奨品<br>※新規認定のみ記載<br>(事業委員会)                                  |                                      |                                                                                                                                                           |                                                                                                     | 運動用マット（1 社）<br>評価システム（1 社）<br>運動器具（1 社）<br>靴（1 社）<br>ヒッププロテクター内蔵衣類（1 社）                             |                                                                                                      | 靴（+2 社）<br>安全マット（1 社）<br>リスク評価機材（1 社）                                                                |
| その他（公開講座，協力事業等）                                              |                                      | （転倒予防フォーラム岩手）<br>（富士北麓ころばぬ医療研究会）                                                                                                                          | 以降，講演会，セミナー，フォーラムいずれかを，原則毎年開催（震災，コロナ禍除く）                                                            |                                                                                                     |                                                                                                      |                                                                                                      |
| 学術研究                                                         |                                      |                                                                                                                                                           |                                                                                                     | 転倒・転落アセスメントツール検討委員会                                                                                 |                                                                                                      |                                                                                                      |
| 登録（商標登録）他                                                    |                                      | 商標登録<br>当会シンボルマーク<br>転倒予防指導士<br>推奨品マーク                                                                                                                    |                                                                                                     |                                                                                                     |                                                                                                      |                                                                                                      |

| 2019                                                                              | 2020                                                                              | 2021                                                                              | 2022                                                                              | 2023                                                                                | 2024                                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                   |                                                                                   | 一般社団法人日本転倒予防学会                                                                    |                                                                                   |                                                                                     |                                                                                     |
|                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   | 1/11 発足<br>4/1 任意団体より移管、会計期間を4月～翌3月から8月～翌7月へ。                                     | 会費適用期間、指導士認定期間を、会計期間と同じに。                                                           | 11/23 20周年記念会（佐賀）<br>※2025年4月から新会員管理システム（会員マイページ等）                                  |
|                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   | 11/1 長野県東御市布下ケアポートみまき内へ移転                                                         |                                                                                     |                                                                                     |
| 第6回<br>（新潟）                                                                       | 第7回<br>（東京）<br>※コロナ禍の下、WEB開催                                                      | 第8回<br>（名古屋）                                                                      | 第9回<br>（横浜）                                                                       | 第10回<br>（京都）                                                                        | 第11回<br>（佐賀）                                                                        |
|  |  |  |  |  |  |
|                                                                                   |                                                                                   | 第8巻よりWEB化学術集会の特集号である2号のみ冊子体となり、装丁はポスターをもとにデザイン                                    |                                                                                   |                                                                                     |                                                                                     |
| 『転倒予防白書 2019』                                                                     |                                                                                   | 『あの人も転んだ この人も転んだー転倒漸と予防川柳ー』<br>『神経疾患患者の転倒予防マニュアル』                                 |                                                                                   | 『転倒予防白書 2023』<br>『高齢労働者のための転倒・転落事故防止マニュアル』                                          | 『転倒予防のプロが教える 正しい杖の使い方ー変形性膝関節症、リウマチ、パーキンソン病、脳卒中、フレイルなどー』                             |
|                                                                                   |                                                                                   | 10月ホームページリニューアル                                                                   |                                                                                   |                                                                                     |                                                                                     |
|                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                     |                                                                                     |
| 第8回（東京）<br>第9回（京都）                                                                | 第10回（東京）<br>コロナ禍のため中止：第11回                                                        | 第12回WEB開催<br>中止：第13回                                                              | 中止：第14回<br>中止：第15回                                                                | 第16回（東京）                                                                            | 第17回（東京）<br>※講習会開催業務一部委託開始                                                          |
|                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                     | ホームページリレーエッセイ開始<br>（教育研修委員会）                                                        |
| 第5回優秀論文賞、若手研究奨励賞                                                                  | 第6回優秀論文賞、（若手研究奨励賞：該当者なし）                                                          | 第7回優秀論文賞、（若手研究奨励賞：該当者なし）                                                          | 第8回優秀論文賞、（若手研究奨励賞：該当者なし）<br>学会賞（武藤 芳照初代理事長）                                       | 第9回優秀論文賞、（若手研究奨励賞：該当者なし）                                                            | 第10回優秀論文賞、若手研究奨励賞                                                                   |
| 『転倒予防川柳 2019』                                                                     | 『転倒予防川柳 2020』                                                                     | 『転倒予防川柳 2021』                                                                     |                                                                                   | 『転倒予防川柳 2023』<br>広報委員会と厚生労働省共催事業へ                                                   | 『転倒予防川柳 2024』                                                                       |
| 靴（+1社）                                                                            | 評価システム（1社）                                                                        |                                                                                   | 運動器具（2社）<br>靴（1社）<br>床材（1社）                                                       | 床材（1社）<br>靴（1社）                                                                     | センサー（1社）<br>運動器具（1社）                                                                |
|                                                                                   | 10/10 富士吉田市<br>『転倒予防都市宣言』                                                         | 式典会場<br>11/15 第1回<br>転倒予防グッズ開発研究会                                                 | 11/11 第2回<br>転倒予防グッズ開発研究会                                                         |                                                                                     | 2/11 「転倒予防フォーラム岩手2024」<br>岩手県内各地で、通算11回開催<br>7/30 「富士北麓転倒予防講演会」<br>通算11回開催          |
|                                                                                   | 『転倒・転落アセスメントツールに関する提言』発信                                                          |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                     |                                                                                     |
| 倫理審査委員会新設                                                                         |                                                                                   |                                                                                   | 学術委員会新設                                                                           | 転倒予防実践ガイド発行開始<br>（学術委員会）                                                            |                                                                                     |
|                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                     |                                                                                     |



**第1回研究集会** 会の発足と同年秋、10月10日(テントウ)「転倒予防の日」に開催、500名を超える参加者で会場はあふれた。提供された同じ弁当を中庭で参加者同士親しく味わっている光景が印象的だった。

**第2回研究集会** 「転倒予防体操・運動プログラムビデオ発表」が加わった。また、創設された「転倒予防大賞」には、全国から多くの応募が集まり、授賞式が行われた。

**第3回研究集会** 新たな出会いを期待し、過去2回の京都市での開催を初めて東京(ニッショーホール)に移した。会場がより大きくなり、「教育セミナー」がプログラムに加わった。

**第4回研究集会** 「初心忘るべからず」(世阿弥)の思いを共有しようと原点の京都府医師会館に戻り、「ラウンドテーブルディスカッション」が復活。

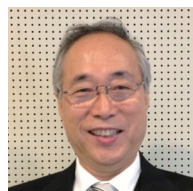
**第5回研究集会～第8回研究集会** 東京のニッショーホールでの開催。

**第5回と第6回**では、「ワークショップ」開催。

**第7回研究集会** 「パネルディスカッション」、「転倒に関する法律セミナー」が加わり、盛況を博した。

**第8回研究集会** 東日本大震災、津波、原発事故という未曾有の惨劇後、半年を経て開催。震災を現地体験されたクミコ氏(特別講演)が、被災地を思いながら、坂本九さんの「ともだち」を歌った。

**第9回研究集会、第10回研究集会**は、東京・文京区の東京大学伊藤国際学術研究センター・赤門総合研究棟での開催。



## 第1回研究集会

実行委員：立入 克敏

医療法人たちいり整形外科会長

ある日、武藤芳照さんから連絡をいただいた。「転倒事故をなくすための研究会を立ち上げたい。第1回を京都で開催したい」と。当時、府医師会理事を務めていた私は、同僚の故中西和仁さんと一緒にお手伝いをした。主な仕事は、会場として府医師会館を準備することと、地元の皆さんへのPR活動であった。

水谷八重子さんの特別講演、シンポジウム、一般演題等々が行われ、557名(参加費支払者)の参加を得て、第1回研究集会は成功裏に終了した。転倒予防体操、転倒予防グッズ、歩道の改良に関する演題など、ほかの学会とは異なるユニークな演題に新鮮さを感じた。

それから10年後には学会へ昇格。さらに10年を経て益々充実した学術集会に発展していることを、スタート時にちょっぴりお手伝いできた身として、大変嬉しく思っている。益々の充実発展を期待している。

■開催研究集会一覧

|        | 開催日        | 会場                       | 参加費支払者数 | 指定演題数 | 一般演題数 | 特別講演講師 講演テーマ                                 |
|--------|------------|--------------------------|---------|-------|-------|----------------------------------------------|
| 第 1 回  | 2004/10/10 | 京都府医師会館                  | 557     | 24    | 44    | 水谷 八重子（舞台女優）「懲りるということ」                       |
| 第 2 回  | 2005/10/10 | 京都府医師会館                  | 526     | 20    | 62    | 成田 真由美（パラリンピック競泳金メダリスト）「自分の可能性を求めて一人生七転び八起き」 |
| 第 3 回  | 2006/10/1  | ニッショーホール                 | 436     | 7     | 44    | 永 六輔（放送タレント）「私の転倒・骨折体験」                      |
| 第 4 回  | 2007/10/7  | 京都府医師会館                  | 444     | 14    | 48    | 阿木 耀子（作詞家）「自分らしく生きるために」                      |
| 第 5 回  | 2008/10/5  | ニッショーホール                 | 548     | 12    | 55    | 山田 洋次（映画監督）「演出するということ」                       |
| 第 6 回  | 2009/10/4  | ニッショーホール                 | 531     | 11    | 47    | 平野 啓子（語り部・かたりすと・キャスター）「語りは心の絵画」              |
| 第 7 回  | 2010/10/3  | ニッショーホール                 | 591     | 13    | 37    | 赤星 憲広（野球評論家）「人生七転び八起き」                       |
| 第 8 回  | 2011/10/2  | ニッショーホール                 | 438     | 12    | 38    | クミコ（歌手）「わが人生の歌語り」                            |
| 第 9 回  | 2012/10/7  | 東京大学伊藤国際学術研究センター・赤門総合研究棟 | 338     | 18    | 33    | 岡本 永司（真言宗豊山派大本山護国寺貫首）「こころの転倒予防」              |
| 第 10 回 | 2013/10/6  | 東京大学伊藤国際学術研究センター・赤門総合研究棟 | 501     | 21    | 36    | 石井 幹子（照明デザイナー）「光の力」                          |

■開催学術集会一覧

|        | 開催日                                   | 会場                                     | 参加費支払者数 | 指定演題数 | 一般演題数 | テーマ                       | 特別講演・市民公開講座「講演テーマ」 講師                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------|---------------------------------------|----------------------------------------|---------|-------|-------|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 回  | 2014/10/5                             | 東京大学伊藤国際学術研究センター・赤門総合研究棟および経済学研究科棟（東京） | 434     | 22    | 49    | 転倒を予防し、希望への道を拓く           | 「夢への努力は今しかない！」<br>河合 純一（日本パラリンピアンズ協会会長）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 第 2 回  | 2015/10/10,11                         | 京都テルサ（京都）                              | 578     | 27    | 69    | 転倒予防の未来をつかむ               | 「京舞における所作と身体」<br>井上 八千代（舞踊家 京舞井上流五世家元）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 第 3 回  | 2016/10/1,2                           | ウイंकあいち（名古屋）                           | 745     | 28    | 76    | フレイルと転倒予防                 | 「氷上のバランスと転倒」<br>伊藤 みどり（アルペールビルオリンピックフィギュアスケート女子シングル銀メダリスト）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 第 4 回  | 2017/10/7,8                           | いわて県民情報交流センター（アイーナ）（盛岡）                | 606     | 28    | 77    | イーハトーブで転倒予防の理念を深め実践を広げる   | 「茶の湯と『体操十種』」<br>川上 宗雪（茶の湯 江戸千家十世家元）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 第 5 回  | 2018/10/6,7                           | アクトシティ浜松・コンgresセンター（浜松）                | 752     | 32    | 92    | 多職種で奏でる新たな転倒予防のハーモニー      | 「世界で活躍するまで～オペラ歌手の自己管理～」<br>中丸 三千繪（ソプラノ歌手）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 第 6 回  | 2019/10/5,6                           | 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター（新潟）                 | 654     | 38    | 83    | 転倒予防への挑戦～人を育て社会へ広げる～      | 「毎日小さく挫折してます」<br>大越 健介（NHK 報道局キャスター）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 第 7 回  | 2020/10/10,11<br>WEB<br>2020/10/10～25 | 中野サンブラザ（東京）／WEB配信                      | 608     | 15    | 50    | 人生100年時代の転倒予防～身近な転倒を再考する～ | 「どこを向いて歩くか」<br>五木 寛之（作家）<br>「歴史と川柳から学ぶ転倒予防のコツ～転倒・骨折・寝たきりを防ぐために」<br>武藤 芳照（一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所代表理事・所長／日本転倒予防学会理事長／東京大学名誉教授）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 第 8 回  | 2021/10/23,24                         | ウイंकあいち（名古屋）／ハイブリッド                    | 679     | 39    | 84    | 豊かな活動のための転倒予防             | 「Balance and Gait Disorders Leading to Falls」<br>Fay B. Horak, Ph. D, PT (Professor, Department of Neurology, School of Medicine, Oregon Health and Science University, USA)<br>「Understanding the Cause and Prevention of Falls and Injuries in Older Adults : Insights from Video Capture of Over 3000 Real-life Falls in Long-term Care」<br>Stephen Robinovitch, Ph.D. (Professor, Department of Biomedical Physiology and Kinesiology, Simon Fraser University, Canada) |
| 第 9 回  | 2022/10/15,16                         | パシフィコ横浜（横浜）                            | 882     | 36    | 63    | 転倒予防の未来を「かたち」にする          | 「自分の歩む未来を創る～転ばぬ先の思考と行動～」<br>工藤 公康（元プロ野球選手／前福岡ソフトバンクホークス監督）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 第 10 回 | 2023/10/7,8                           | 京都テルサ（京都）                              | 797     | 35    | 98    | 新しい転倒予防                   | 「ラグビーの魅力～Women in Rugby～」<br>浅見 敬子（公益財団法人日本ラグビーフットボール協会副会長）<br>特別企画『学校保健およびスポーツにおける危機管理』<br>「脳神経科学と競技スポーツ」<br>小松 泰喜（日本大学スポーツ科学部教授）<br>「転倒とスポーツ外傷」<br>篠原 靖司（立命館大学スポーツ健康科学部教授）                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 第 11 回 | 2024/11/23,24                         | SAGA アリーナ（佐賀）                          | 465     | 26    | 87    | 家庭でも職場でも社会でも転ばない in SAGA  | 「いつまでも健康で美しく歩く身体へ～世界一のミスが教える転ばない歩き方～」<br>吉松 育美（ミスインターナショナル2012 世界一／合同会社 IY GLOBAL 代表）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |



第 1 回学術集会パネルディスカッション座長・講師，「アカデミックかつアットホーム」の基本精神。



第 2 回学術集会情報交流会

2014 年、日本転倒予防学会発足とともに、研究会時代の「研究集会」は、「学術集会」へと名を変え、会長、副会長（次期会長）、テーマが定まり、総会も開催され、学術集会の体が整えられた。学会発足時には、すでに第 1 回から第 6 回までの会長が決められた（本誌表紙写真参照）。第 4 回には、初めての地方開催、さらに東日本大震災やコロナ禍等、さまざまな困難を乗り越えながら、質・量ともに充実していった。

研究会時代に重要視された「アカデミックかつアット

ホーム」の基本精神は引き継がれ、転倒予防にかかわる幅広く多様な専門職知識と技術と経験の交流の機会となるよう工夫され、プログラムに反映されるよう、会長はじめ役員・関係者の努力は続いている。

佐賀で開催された第 11 回学術集会では、転倒予防医学研究会発足から、日本転倒予防学会、さらに一般社団法人化を経て 20 年の節目を迎えたことを祝し、「20 周年記念会」が開催された（本誌表紙写真参照）。

## 第 1 回学術集会

2014 年 10 月 5 日（日）

東京大学伊藤国際学術研究センター  
赤門総合研究棟および経済学研究科棟



会長：武藤 芳照

一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所代表理事・所長 / 東京大学名誉教授

2014 年 10 月 5 日（日）に、東京大学伊藤国際学術研究センターほかで開催された。前夜には、構内の生協食堂で懇親会も行われた。「転倒を予防し、希望への道を拓く」のテーマの下、636 名が参加した。特別講演は、日本パラリンピアンズ協会会長の河合純一さんの「夢への努力は今しかない！」。また、名誉会員 10 名を決定し、

出席された永六輔さんらに名誉会員記が贈呈された。

転倒リスク、運動介入、機器・用具、危険予知トレーニング、フレイル、骨粗鬆症～転倒～要介護の負の連鎖等の主題のほか、多職種の一般発表や企業展示も多くなされた。10 年に及ぶ転倒予防医学研究会の集大成の学術集会であり、学会の未来への希望を語るアカデミックでアットホームな雰囲気の記念すべき初の会となった。



名誉会員（2014 年学会発足時承認）（敬称略：詳細は p 4 参照）  
石井 幹子 永六輔\* 岡本 永司 杉岡 洋一\* 金子 恵子 参加  
田島 直也 成田 真由美\* 平野 啓子\* 水谷 八重子  
山田 洋次 山本 博司\*  
※名誉会員授与式（第 1 回学術集会内）で参加

名誉会員の方々と

## 第 2 回学術集会

2015 年 10 月 10 日（土）・11 日（日） 京都テルサ



会長：萩野 浩

独立行政法人労働者健康安全機構山陰労災病院  
病院長

「第 2 回の学会をお願いします」

外来診察中、武藤芳照さん（当時理事長）から突然お電話をいただいた。「米子ではなく、関西をお願いします」と有無を言わせぬお声。その勢いに押され、「は、はい、わかりました」と即答したが、全国規模の学会を主催した経験もなく、しかも第 1 回開催前の段階で、大きな不安を抱えた。

しかし、京都の公的会場が利用可能と分かり、共催企業も集まり始めると次第に安心感が芽生えた。そして実行委員長の尾崎まりさん、運営事務をご担当いただいた池原良子さん、さらにドゥ・コンベンションの皆様のご支援のおかげで、トラブルもなく学会を盛大に開催することができた。

多くの皆様に支えられたこの経験は、私にとって貴重な学びとなった。ご尽力いただいたすべての方々に、心より感謝申し上げます。



実行委員長：尾崎 まり

鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部  
部長 / 准教授 / リハビリテーション科科长

私は鳥取大学で転倒予防チームの活動をしていたが、不真面目なメンバーだった。そのため、当時の上司である現代表理事の萩野さんに、学会を開催すると言われても、ピンとこなかった。第 1 回学術集会の視察、理事会への出席など、どこかしら他人事のようなふわふわした感覚でいた。10 年たった今、京都テルサの第一会場の立派な椅子と、そこに楽しそうに座っておられる萩野会長、遠く離れたポスター会場、慣れないヒールで走り回った痛い踵ぐらいしか思い出せない…ただ、『ランチョンセミナーはとにかくおいしい肉！』とこだわったことは鮮明に覚えている。肉食女子（単に魚嫌い）の私は学会の幕の内弁当が嫌で、とにかく肉にこだわり、肉まみれ弁当を 2 日間出し続けた。このお弁当は、その後 10 年たっても私の中の 1 番のランチョン弁当だ！

## 第3回学術集会

2016年10月1日(土)・2日(日) ウインクあいち



会長：原田 敦

医療法人卓介護老人保健施設キューオー  
エル

特別講演・伊藤みどりさんとの対談



実行委員長：竹村 真里枝

国立長寿医療研究センター  
ロコモフレイル診療部 サルコペニア診療科医長

学術集会のテーマ設定について述べる。いま改めて思い起こすと、第3回の開催意義は、転倒の背景要因として、フレイルを初めて真正面から取り上げ、学会としての認知に一役果たしたことで、今でもそれはよかったと感じている。

反面、大きな後悔は、その裏返しでもあるが、ヒッププロテクターなど転倒による骨折予防の手段として、最初から自分が取り組んだ個人史のある生体力学的テーマを選択しない判断をしたことである。

幸い、転倒予防学のその後の目覚ましい発展で、外力軽減による外傷軽傷化は、高いエビデンスとして標準化されたが、それだけに自分が会長のときにテーマとして扱い、学会史に刻むべきであったとの思いも残る。

いずれにしても、いったんテーマが決まったら、それに沿って学術集会をどう編み込むのか深慮するのが会長の特権、楽しみである。

「フレイルと転倒予防」をテーマに、2016年10月1日から2日の2日間に、名古屋で開催された。学会発足から3年目を迎え、今後の発展に向けて重要な会であると捉え、実行委員長を任された私は自らに気合を入れて準備を進めた。一方、当時は当日登録のみで事前に参加者数を把握できず、集客に大きな不安も抱えていた。結果的には896名の参加者が集まり、魅力的な演者の講演や発表を通じて活発な討議や意見交換が行われた。懇親会も盛況で、食事の追加が必要になるほどの賑わいであった。印象深いのは、原田会長との対談形式で行った伊藤みどりさんの特別講演である。講演後には銀メダルの記念撮影に応じていただき、多くの希望者が列を成した。実行委員長としての責任の重さに圧倒されつつも、皆様のご協力により無事盛会となり、心より感謝申し上げますとともに、今後の学会の益々のご発展を心より願う。

## 第4回学術集会

2017年10月7日(土)・8日(日) いわて県民情報交流センター(アイーナ)



会長：菅 栄一

菅整形外科皮膚科クリニック院長



実行委員長：菅 義行

菅整形外科医院院長

私が住む地域の介護予防事業を企画するおりに、東京厚生年金病院の「転倒予防教室」を報道で知り、転倒予防医学研究会の門を叩いた。

研究会では世話人、学会となり理事を務めさせていただき、第4回学術集会を会長として盛岡市で開催した。テーマを「イーハトーブで転倒予防の理念を深め実践を広げる」とし、シンポジウムで「新たな視点での各科領域から見た転倒予防」を、パネルディスカッションで東日本大震災を経験した地として「大規模被災時の転倒・介護予防」などを企画した。

特別講演は、茶の湯・江戸千家十世家元の川上宗雪氏に「茶の湯と『体操十種』」と題した講演をいただいた。

初めての地方都市開催であり、多くの方にご参加いただけたか心配だったが、約800名の参加者を得て懇親会を含め、盛会に終えることができた。

転倒予防医学研究会から参加し、日本転倒予防学会では現在、理事に推薦していただいている。第4回学術集会では、兄でもある会長の菅栄一を支え、第4会場のチーフおよび一般口演7の座長を担当した。一般口演は7つのテーマに分かれており、第4会場では4つのテーマについて、講演と意見交換が行われた。

一般口演4(5演題)：転倒と疾患・薬剤、一般口演5(4)：骨粗鬆症と転倒予防、一般口演6(4)：様々な転倒予防介入・スタッフ教育、一般口演7(4)：地域在住高齢者の転倒予防について

全国レベルの学会に開業医が関わる経験をさせていただいたことに御礼を申し上げる。この経験をもとに、「転倒予防フォーラムいわて」を継続開催している。前理事長の武藤芳照さんの特別講演などで、地域の転倒予防活動を盛り上げていただいております。感謝を申し上げます。

## 第5回学術集会

2018年10月6日(土)・7日(日) アクトシティ浜松・コンgresセンター



会長：鈴木 みずえ

浜松医科大学臨床看護学講座教授



実行委員：古田 良江

元浜松医科大学臨床看護学講座

アクトシティ浜松中ホール・コンgresにおいて、「多職種で奏でる新たな転倒予防のハーモニー」をテーマに多職種連携が一層広がり深まるように企画した。超高齢社会のわが国では、転倒予防は介護予防の重要な位置づけにあり、高齢者保健・医療・福祉の大きな課題となっている。最新の研究成果とともに、転倒予防指導士の活動報告、前理事長の武藤さんの講演やさらにソプラノ歌手の中丸三千繪さんのご講演など音楽の街（まち）浜松で開催することで、多職種で奏でる新たな転倒予防のハーモニーを浜松から全国に届ける役割を果たすことができたと思う。地域の高齢者の皆様にも市民講座に楽しく参加していただいた。関係者の皆様のご支援・ご協力を賜りましたことに謹んでお礼申し上げる。

学術集会のテーマは「多職種で奏でる新たな転倒予防のハーモニー」で、そのテーマどおりに、医師、看護師、薬剤師、PT、OT、介護士、転倒予防サポーターなど、多くの職種の方々に協力を賜り開催された。協力してくださった方々には、改めて感謝申し上げたい。また私自身、実行委員としてさまざまな方々と親しくさせていただく機会に恵まれたことを大変感謝している。特に、第3回名古屋と第4回岩手のスタッフの皆様と、準備の早い段階から一緒にできたことは、大変心強かった。浜松の「やрмаいか精神」（新しいことに果敢に挑戦する気概を示す言葉）で乗り切ったという次第であり、至らぬことも多かったのではないかと考えているが、経験者のお力添えと多職種の協力でハーモニーは奏でられたと感じている。

## 第6回学術集会

2019年10月5日(土)・6日(日) 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター



会長：立川 厚太郎

社会福祉法人新潟県身体障害者団体連合会理事長

会長二人で



会長：山本 智章

医療法人愛広会新潟リハビリテーション病院院長

「転倒予防への挑戦～人を育て社会へ広げる～」をテーマに2019年10月5日から6日の2日間、初めて日本海側の朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターで学術集会が行われた。私と山本智章さんが会長を務め、特別講演に当時NHK報道局キャスターの大越健介さんに来ていただき、「毎日小さく挫折しています」と題した講演をいただいた。全国から大勢の参加者が集まり、また、盛りだくさんの演題とディスカッションで活気ある学術集会となった。素晴らしい思い出となり、学会員をはじめ皆様からご協力をいただき感謝を申し上げる。

新潟市朱鷺メッセで立川厚太郎さんと共同会長を務めた。その時の目玉は初代理事長の武藤さんの人脈から当時NHKのニュース9の大越健介キャスターを市民公開講座にお招きできたことである。新潟市出身で東大野球部の大エースとして活躍した大越さんの人気はすさまじく、急遽サテライト会場を設定した。「自分は挫折したことがない」という大越さん、その意味は転んでも倒れてもその経験を学びとして挫折にしないと語る大越さんの言葉は本学会の理念にも通じるものを感じた。私自身も学会開催という大仕事を通じて新たな発見やつながりが生まれ、本当に貴重な体験だったと今も忘れられない思い出である。武藤さんや元事務局長の甲斐さんをはじめ事務局の皆様感謝を申し上げたい。現代表理事の萩野さんのもとで本学会のさらなる発展を祈念している。

## 第7回学術集会

2020年10月10日(土)・11日(日) 中野サンプラザ



会長：奥泉 宏康

上田市武石診療所所長

2020年、新型コロナウイルス感染症の流行で多くの学術集会が中止または延期となった。そんな中、東京、中野サンプラザでの現地開催「市民公開講座」で特別講演の五木寛之さんに、「新型コロナ時代に講演を開催された勇氣に敬意を表する」という言葉をいただきながら、オンライン配信で学術集会を開催した。

608名(参加費支払)の参加者の協力を得て、予定していたセミナーをライブ配信3つ、オンデマンド配信5つに分け、新型コロナの対応等で多忙の中、さらに、慣れない録画投稿による一般演題25題、ポスター閲覧25題を実施した。

初めての試みに対して直前まで不透明な部分が多かった中で、協力していただいた演者や企業の方々、学術集会の実行委員会や運営事務局の皆様などと作り上げた第7回学術集会だった。



会長：上岡 洋晴

東京農業大学大学院環境共生学専攻教授

現監事の奥泉宏康さんと一緒に会長をさせていただいた。舞台やコンサートなどで国民から親しまれていた中野サンプラザでの開催だった。不運なことにコロナ禍で開催方法には相当苦勞したことを記憶している。会場費が安価ではなく、対面開催しても参加者を期待できず、オンラインだけにするか、あるいはハイブリッド、オンデマンド方式にするかなどであった。当時、ハイブリッド方式は出始めであり、現在と比べると高かっただろうが支出の多寡にかかわらず実施することが重要だった。とにかく予測困難・不安定要素が多かった。しかし、初代理事長の武藤さんや前事務局長の甲斐さんなど多くの方々のご支援により何とか形づくることができ感謝の念に堪えない。さまざまなことがあったが、作家五木寛之さんの講演を拝聴できたことで苦勞が報われた気がした。

## 第8回学術集会

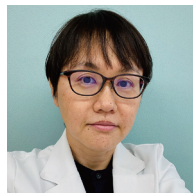
2021年10月23日(土)・24日(日) ウィンクあいち



会長：大高 洋平

藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座  
主任教授

第8回となる本学術集会は、転倒予防が目指す真の目的である、豊かな活動を保ちながらも転倒をいかに予防するかというテーマ「豊かな活動のための転倒予防」で、活発な議論を交わした。特別講演では、転倒外傷予防の権威である Stephen Robinovitch 教授(カナダ)、バランス機能についての権威である Fay B. Horak 教授(アメリカ)に講演をいただき、最先端の転倒予防について知識を共有した。シンポジウムは、AI・テクノロジーを用いた転倒予防の挑戦、そして転倒予防の最終目的である外傷予防について、パネルディスカッションでは、地域、急性期病院、そしてリハビリテーション病院においての転倒予防の実践について、さまざまな議論とともに参加者の活発な交流が図られた。



実行委員長：尾関 恩

藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学  
科准教授

2021年10月23日から24日の2日間、ウィンクあいち(名古屋市)にて開催した。会長講演1演題、特別講演2演題、教育講演6演題、シンポジウム9演題、パネルディスカッション12演題、スポンサーセミナー3演題、ランチョンセミナー4演題、一般口演17演題、ポスター67演題の合計121演題で、学術集会テーマである「豊かな活動のための転倒予防」に関して数々の発表と有意義な議論が行われた。

初の試みとして、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み、当日の口演プログラムを11月5～30日の期間にオンデマンドで配信した、現地参加者は381名、オンライン参加を含めた参加者は合計701名であった。

本会の開催にあたりご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

## 第9回学術集会

2022年10月15日(土)・16日(日) パシフィコ横浜



会長：鮫島 直之

国家公務員共済組合連合会東京共済病院脳神経外科部長



実行委員：花野 悦子

国家公務員共済組合連合会東京共済病院総務課

パシフィコ横浜

2022年10月 パシフィコ横浜にて会長として開催できたことを大変光栄に思う。一般社団法人となって最初の学術集会となった。依然コロナ禍にありハイブリッド開催だったが、多職種900名ほどにご参加いただき、晴天にも恵まれて現地参加も多く戻ってきたことを嬉しく思った。テーマは『転倒予防の未来を「かたち」にする』として、病院で、施設で、地域で日々活躍されている皆様に、未来への展望を「かたち」にする場を作った。最近、注目されている「病院内転倒予防チーム」の特別企画を用意し、参加者にアナライザーを配り議論した。初代理事長武藤芳照さんの基調講演「転倒予防の道を拓く」では、「人生は縁と運、そして恩」とし、転倒予防の文化を育て仲間と共に進んでいこうと思ったことが強く記憶に残っている。

学術集会は2022年10月15日から16日の2日間、パシフィコ横浜で開催した。開催に先立ち準備委員会を2020年12月に立ち上げたが、当時は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の真只中ということもあり開催までのイメージが難しかったことを記憶している。

日本転倒予防学会の学会員は多職種である。第9回は職種、職場、立場関係なく広く学べる学術集会を意識した。実際に会場では垣根を越えた名刺交換や質問、議論などが活発に行われていて期待以上の成果を感じた。第9回が終了してからしばらく経つが学術集会で学んだ知識がそれぞれの現場で活かされていればとても嬉しい。

最後に第9回学術集会開催にご尽力いただいた皆様に感謝申し上げたい。皆様からの暖かいお言葉がいつも励みになった。今後も素晴らしい学術集会が続くことを期待している。

## 第10回学術集会

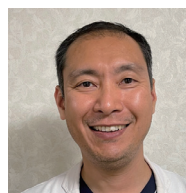
2023年10月7日(土)・8日(日) 京都テルサ



会長：金森 雅夫

羽衣国際大学人間生活学部食物栄養学科特別教授

実行委員長の立入さんと



実行委員長：立入 久和

医療法人たちいり整形外科理事長・院長

テーマは、日経「New Normal」講習会からヒントを得て「新しい転倒予防」と決めた。準備が始まったころの会場は、コロナにより一般公開されていない状態であった。横浜大会が盛大に行われたが、この勢いを担いで盛大にするか迷った。コロナは収束するかに見えた。しかし、変異株感染が高齢者施設などでくすぶり、再燃を恐れた。Institut PasteurのScience誌論文を読んでいたので。大学では、大規模授業、行事はzoomで行っている現状を鑑み、簡素な学会にしようと考えた。多忙極める医療者、特に保健所と身近な私は、第一線予防に従事する者の気持ちを代弁し、「簡素」な学会にすることは、予防医学者としての務めと考えた。コロナの再燃は危惧に終わったが。優柔不断の会長をリードしてくれたのは、立入久和さんはじめ実行委員の諸氏である。赤字を出さずに終わったのも協賛企業、事務局はじめ皆様の協働のおかげと思う。

重要な任務を担当させていただいたが、実行委員の征矢野あや子さん、小松泰喜さん、篠原靖司さんの協力なしでは役割を果たせなかった。多くの方々と交流し、惜しめない指導と助言をいただいた。また、スポンサーにも恵まれ、金森会長と共に133の演題(公募98, 指定35)で充実したプログラムを組むことができた。初日の市民公開講座では、ラグビー界を代表して浅見敬子さんにご講演いただき、250名ほどが参加、転倒後の準備を事前に用意することを教わった。2日目は参加者アンケートで最も関心が高かった「循環器と転倒予防」をはじめ、転倒予防の内的・外的要因、多職種での取り組み、厚生労働省の施策などが議論され、約810名が参加し、活発な意見交換が行われた。皆様のご協力のおかげで大会も無事終了でき、この場をお借りして感謝申し上げます。

## 第 11 回学術集会

2024 年 11 月 23 日（土・祝）・24 日（日） SAGA アリーナ



会長：浅見 豊子

医療法人安寿会田中病院理事長  
佐賀大学医学部臨床教授

実行委員長：村田 和樹

佐賀大学医学部附属病院リハビリテーション科医師

テーマは「家庭でも職場でも社会でも転ばない in SAGA（S：佐賀発信，A：明日からの，G：がばいよか（とてもよい），A：アクション）」とした。

初日は，ミスインターナショナル 2012 吉松育美さん「転ばない歩き方」の市民公開講座後，ホテルニューオータニ佐賀で佐賀の美味しい食材とお酒とお土産をお楽しみいただきながら，飛び入り参加の山口県知事も交えた多くの方々と学会 20 周年を祝った。

学会では、『20 周年記念講演』『家庭でも職場でも社会でも転ばない in SAGA』を含む企画 5 つ，協賛セミナーはスイーツセミナー 2 つを含む 7 つ，展示企業プレゼンテーション 2 つ，ハンズオンセミナー，など新企画も取り入れた。

おかげで多職種約 650 名にご参加いただき盛会に終わられた。ご支援いただいた多くの方々に心より感謝申し上げます。

2024 年 11 月 23 日（土・祝），24 日（日）に学術集会が無事に閉会した。

1 年前に完成したばかりの佐賀市にある SAGA アリーナという大きな会場での開催だったが，同年度に同会場で別の学会を開催していた経験は大きく活かすことができたように思う（当初大会長の浅見さんから「同年度に 2 つの学会を主催する」と聞いた時には頭を抱えたが）。

また日本転倒予防学会 20 周年とも重なるということは大きなプレッシャーであったが，振り返ってみれば実行委員長の私の働きはそのプレッシャーに耐えることばかりで，実際には関係者の皆様の惜しみないご支援に支えられ，盛会に終えることができた。

今後は皆様からいただいたご支援に少しでも報いることのできるよう，日本転倒予防学会のさらなる発展に貢献していきたい。

## ■ これからの学術集会

|        | 開催日                               | 会場               | 大会長                                                                                                  | テーマ                                                                                                                          |
|--------|-----------------------------------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 12 回 | 2025 年 10 月<br>4 日（土）<br>5 日（日）   | G メッセ群馬<br>（高崎）  | 梅原 里実<br>（高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科教授）<br>上内哲男<br>（独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）<br>東京新宿メディカルセンターリハビリテーション室理学療法士長） | 「転倒予防の未来を描く<br>一多職種で織りなす<br>地域包括連携」<br> |
| 第 13 回 | 2026 年 10 月<br>10 日（土）<br>11 日（日） | ウインクあいち<br>（名古屋） | 饗場 郁子<br>（独立行政法人国立病院機構東名古屋病院院長）                                                                      | 「健康寿命延伸のハブとなる転倒予防<br>～つなげる，深める，実践する～」                                                                                        |
| 第 14 回 | 2027 年 9 月<br>25 日（土）<br>26 日（日）  | 金沢文化ホール<br>（金沢）  | 加藤 真由美<br>（金沢大学医薬保健研究域保健学系教授）<br>平松 知子<br>（金沢医科大学看護学部教授）                                             | 準備中                                                                                                                          |

# ●委員会活動 歴代委員会一覧表

◎委員長 ○副委員長

| 転倒予防医学研究会                                                                                                                     |                                                                                        |   |                                                                                                 |   | 日本転倒予防学会                                                                                                                    |      |                                                                                                               |                                                                                             |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 2005                                                                                                                          | 2006                                                                                   | ～ | 2012                                                                                            | ～ | 2014                                                                                                                        | 2015 | 2016                                                                                                          | 2017                                                                                        |  |
| <b>総務委員会</b><br>◎岡田 真平<br>小松 泰喜<br>征矢野 あや子<br>高橋 一男<br>立入 克敏<br>望月 浩一郎                                                        | ◎岡田 真平<br>○小松 泰喜<br>太田(福島) 美穂<br>大高 洋平<br>征矢野 あや子<br>高橋 一男<br>立入 克敏<br>望月 浩一郎          |   |                                                                                                 |   | <b>総務</b><br>担当理事 岡田 真平                                                                                                     |      |                                                                                                               |                                                                                             |  |
| <b>財務委員会</b><br>◎立川 厚太郎<br>○中西 和仁<br>岡山 慶子<br>木村 明彦<br>足澤 輝夫<br>渡邊 美隆                                                         |                                                                                        |   | ◎立川 厚太郎<br>○中西 和仁<br>岡山 慶子<br>木村 明彦<br>足澤 輝夫<br>渡邊 美隆<br>藤末 洋                                   |   | <b>財務</b><br>担当理事 立川 厚太郎<br>担当理事 岡田 真平                                                                                      |      |                                                                                                               |                                                                                             |  |
| <b>広報委員会</b><br>◎高杉 紳一郎<br>○江夏 亜希子<br>北村 正之<br>黒柳 律雄<br>鈴木 みずえ                                                                | ◎高杉 紳一郎<br>○江夏 亜希子<br>北村 正之<br>黒柳 律雄<br>鈴木 みずえ<br>協力 杉山 明希                             |   | ◎高杉 紳一郎<br>○江夏 亜希子<br>○上内 哲男<br>菅 栄一<br>北村 正之<br>黒柳 律雄<br>鈴木 みずえ<br>山田(永滝) 由紀子                  |   | <b>広報</b><br>担当理事 上内 哲男<br>山田(永滝) 有希子                                                                                       |      |                                                                                                               | <b>広報委員会</b><br>◎上内 哲男<br>村山 明彦<br>森田 光生<br>山田(永滝) 有希子                                      |  |
| <b>事業委員会</b><br>◎上岡 洋晴<br>○奥泉 宏康<br>上野 勝則<br>大関 真理子<br>小田島 由生子<br>桂川 保彦<br>安田 彩<br>山田 澄代                                      | ◎上岡 洋晴<br>○奥泉 宏康<br>上野 勝則<br>大関 真理子<br>小田島 由生子<br>桂川 保彦<br>桑野 慎一郎<br>安田 彩<br>山田 澄代     |   | ◎上岡 洋晴<br>○奥泉 宏康<br>上野 勝則<br>大関 真理子<br>小田島 由生子<br>桂川 保彦<br>桑野 慎一郎<br>安田 彩<br>山田 澄代<br>山本 創太     |   | <b>事業</b><br>担当理事 山本 創太<br>森田 光生<br>山田 実                                                                                    |      | <b>事業委員会</b><br>◎山本 創太<br>山田 実<br>森田 光生                                                                       |                                                                                             |  |
| <b>学術・国際委員会</b><br>◎原田 敦<br>○永島 正紀<br>大淵 修一<br>小原 淳<br>鈴木 隆雄<br>田中 英一<br>中島 八十一<br>萩野 浩<br>半田 一登                              | ◎原田 敦<br>○永島 正紀<br>大淵 修一<br>小原 淳<br>鈴木 隆雄<br>田中 英一<br>中島 八十一<br>萩野 浩<br>半田 一登<br>村嶋 幸代 |   | ◎原田 敦<br>○鈴木 みずえ<br>大淵 修一<br>小原 淳<br>鈴木 隆雄<br>中島 八十一<br>萩野 浩<br>半田 一登                           |   |                                                                                                                             |      |                                                                                                               |                                                                                             |  |
| <b>教育研修</b><br>担当 上内 哲男<br>担当 橋口 知                                                                                            | <b>教育研修委員会</b><br>◎上内 哲男<br>○橋口 知                                                      |   | ◎上内 哲男<br>○橋口 知<br>磯崎 かなめ                                                                       |   | <b>教育研修</b><br>担当理事 奥泉 宏康<br>実行委員 北湯口 純<br>実行委員 上内 哲男<br>実行委員 征矢野 あや子<br>実行委員 橋口 知<br>実行委員 山本 創太<br>実行委員 山田 実<br>実行委員 森田 光生 |      | 担当理事 奥泉 宏康<br>担当理事 北湯口 純<br>実行委員 上内 哲男<br>実行委員 征矢野 あや子<br>実行委員 橋口 知<br>実行委員 山本 創太<br>実行委員 山田 実<br>実行委員 森田 光生  |                                                                                             |  |
| <b>転倒予防大賞実行委員会</b><br>◎武藤 芳照<br>○太田(福島) 美穂<br>○鈴木 みずえ<br>岡田 真平<br>上岡 洋晴<br>高杉 紳一郎<br>立川 厚太郎<br>足澤 輝夫<br>橋口 知<br>原田 敦<br>村嶋 幸代 |                                                                                        |   | ◎武藤 芳照<br>○太田(福島) 美穂<br>○鈴木 みずえ<br>○橋口 知<br>岡田 真平<br>上岡 洋晴<br>高杉 紳一郎<br>立川 厚太郎<br>原田 敦          |   | <b>編集委員会</b><br>◎上岡 洋晴<br>○大高 洋平<br>岡田 真平<br>奥泉 宏康<br>征矢野 あや子<br>橋口 知<br>朴 眩泰<br>山田 実<br>山本 創太<br>顧問 鈴木 みずえ                 |      |                                                                                                               | ◎上岡 洋晴<br>○大高 洋平<br>岡田 真平<br>奥泉 宏康<br>鮫島 直之<br>征矢野 あや子<br>橋口 知<br>朴 眩泰<br>山田 実<br>顧問 鈴木 みずえ |  |
|                                                                                                                               |                                                                                        |   | <b>学会設立検討委員会</b><br>◎原田 敦<br>○鈴木 みずえ<br>奥泉 宏康<br>上岡 洋晴<br>立川 厚太郎<br>外 朴 眩泰<br>外 山田 実<br>※外：非世話人 |   |                                                                                                                             |      | <b>アセスメントツール検討委員会</b><br>◎鈴木 みずえ<br>征矢野 あや子<br>梅原 里実<br>黒川 美知代<br>杉山 良子<br>杉山 智子<br>上内 哲男<br>安延 由紀子<br>横田 慎一郎 |                                                                                             |  |

|      |                                                                                                      |                                                                               |                                                                               | 一般社団法人日本転倒予防学会                                                                                                         |                                                                                                       |                                                                                                                 |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2018 | 2019                                                                                                 | 2020                                                                          | 2021                                                                          | 2022                                                                                                                   | 2023                                                                                                  | 2024                                                                                                            |
|      |                                                                                                      |                                                                               |                                                                               | <b>業務執行理事会</b><br>◎代表理事 萩野 浩<br>○副代表理事 大高 洋平<br>○副代表理事 鈴木 みずえ<br>梅原 里実<br>岡田 真平                                        |                                                                                                       |                                                                                                                 |
|      |                                                                                                      |                                                                               | <b>財務小委員会</b><br>◎武藤 芳照<br>原田 敦<br>菅 栄一<br>鈴木 みずえ<br>立川 厚太郎<br>萩野 浩<br>甲斐 美和子 |                                                                                                                        |                                                                                                       |                                                                                                                 |
|      |                                                                                                      | ◎上内 哲男<br>饗場 郁子<br>黒川 美知代<br>鮫島 直之<br>村山 明彦<br>森田 光生<br>安延 由紀子<br>山田 (永滝) 有希子 |                                                                               | <b>広報委員会</b><br>◎上内 哲男<br>○饗場 郁子<br>○村山 明彦<br>杉山 智子<br>立入 久和<br>安田 彩<br>山田 (永滝) 有希子                                    |                                                                                                       |                                                                                                                 |
|      |                                                                                                      |                                                                               |                                                                               | <b>事業委員会</b><br>◎山本 創太<br>○鮫島 直之<br>○森田 光生                                                                             |                                                                                                       |                                                                                                                 |
|      |                                                                                                      |                                                                               |                                                                               | <b>学術委員会</b><br>◎山田 実<br>○加藤 真由美<br>○金森 雅夫<br>梅原 里実<br>澤 龍一<br>永井 宏達<br>平松 知子<br>牧野 真弓<br>山田 茂樹<br>山本 智章               |                                                                                                       |                                                                                                                 |
|      |                                                                                                      |                                                                               |                                                                               | <b>教育研修委員会</b><br>◎北湯口 純<br>○梅原 里実<br>○黒川 美知代<br>大坂 裕<br>尾崎 まり<br>顧問 奥泉 宏康                                             |                                                                                                       | ◎北湯口 純<br>○梅原 里実<br>○黒川 美知代<br>射場 靖弘<br>大坂 裕<br>尾崎 まり<br>鎌田 博司<br>顧問 奥泉 宏康                                      |
|      | ◎上岡 洋晴<br>○大高 洋平<br>岡田 真平<br>奥泉 宏康<br>小林 吉之<br>鮫島 直之<br>征矢野 あや子<br>橋口 知<br>朴 眩泰<br>山田 実<br>顧問 鈴木 みずえ |                                                                               |                                                                               | <b>編集委員会</b><br>◎上岡 洋晴<br>○小林 吉之<br>○牧迫 飛雄馬<br>北湯口 純<br>鮫島 直之<br>澤 龍一<br>征矢野 あや子<br>中嶋 香奈子<br>松本 浩実<br>村山 明彦<br>安延 由紀子 | ◎小林 吉之<br>○牧迫 飛雄馬<br>上岡 洋晴<br>北湯口 純<br>鮫島 直之<br>澤 龍一<br>征矢野 あや子<br>中嶋 香奈子<br>松本 浩実<br>村山 明彦<br>安延 由紀子 | ◎牧迫 飛雄馬<br>○小林 吉之<br>○村山 明彦<br>上岡 洋晴<br>北湯口 純<br>鮫島 直之<br>澤 龍一<br>征矢野 あや子<br>中嶋 香奈子<br>松本 浩実<br>村山 明彦<br>安延 由紀子 |
|      | <b>倫理審査委員会</b><br>◎金森 雅夫<br>○梅原 里実<br>大関 真理子<br>外部 鎌田 真光<br>外部 定本 朋子<br>外部 辰野 裕一<br>※外部：非会員          |                                                                               |                                                                               |                                                                                                                        |                                                                                                       |                                                                                                                 |

## 編集委員会



### 委員長：牧迫 飛雄馬

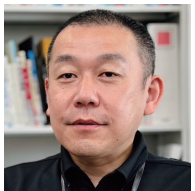
鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻基礎理学療法学講座教授

編集委員会では、日本転倒予防学会の機関誌である『日本転倒予防学会誌』（Japanese Journal of Fall Prevention：JJFP）の発刊を通じて、転倒予防をめぐる最新の動向や研究報告など、会員および一般の方々に向けた有益な情報が掲載できるように活動している。編集委員会は、編集委員 12 名（2025 年 4 月現在）で構成され、投稿論文の査読や採否審査のほか、特集記事の企画などに取り組んでいる。2014 年 6 月に創刊号を発刊して以降、2024 年 3 月には日本転倒予防学会誌第 10 巻を発刊するに至っている。日本転倒予防学会誌は発刊して 10 年の節目を迎え、これまでに 35 編の原著論文のほか、総説、特集記事、報告などのさまざまな情報を公開してきた。これらの論文は、日本転倒予防学会ホームページ（<https://www.tentouyobou.jp/jjfp/about.html>）

ならびに J-stage（<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/tentouyobou/-char/ja>）で広く一般に公開している。2021 年発刊の第 8 巻からは冊子体での発刊を廃止し、WEB 公開とするオンライン誌として発刊されている（学術集会特集号のみ冊子体）。

今後、掲載記事の充実を図るとともに、日本転倒予防学会誌の価値や論文の質のさらなる向上を目指し、編集委員会活動の活性化を促進していく所存である。

## 教育研修委員会



### 委員長：北湯口 純

雲南市健康福祉部身体教育医学研究所うなん副所長・専門官 / 管理研究員

教育研修委員会は、学会の前身団体である転倒予防医学研究会の人材育成（転倒予防指導者養成講座）のコンセプトと基本的な内容を継承し、学会発足の 2014 年より「転倒予防指導士」の養成と育成支援を主要事業として活動してきた。研究会時代にこの礎を築かれた初代委員長の上内哲男さん、当会発足や社会変化に応じた大幅なプログラム改訂の先導的役割を担われた前委員長の奥泉宏康さんをはじめ、担当委員各位の多大なご尽力により学会を代表する活動として継続されてきた。2004 年に初めて東北・盛岡において養成講座が実施されて以降、さまざまな地域・団体・関係者の方々に協力添えをいただきながら通算で 18 回の養成講習を開催することができた。その結果、これまでの 20 年間で、1,240 名の転倒予防指導士が誕生し、全国各地でご活躍いただい

る（本誌 p27 転倒予防指導者養成講座から転倒予防指導士基礎講習会へ参照）。

高齢化のさらなる伸展への対応として、また、子どもや青壮年代からの転倒予防の重要性に対する認識をより高める上でも、これからますます転倒予防指導士の役割やそれに対する期待は高まっていくと考えられる。これからの転倒予防指導士のフォローアップ体制の充実に努めるとともに、一つでも多くの転倒を社会から減らすことができるよう、関係する皆様とのご縁を大切にしながら、多分野・多職種の連携と協働による「転倒予防の輪」を益々広げられるよう、より一層尽力する所存である。

## 広報委員会



### 委員長：上内 哲男

独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）東京新宿メディカルセンターリハビリテーション室理学療法士長

2004年に発足した「転倒予防医学研究会」において広報担当世話人であった高杉紳一郎さん（佐賀整肢学園こども発達医療センター）より、2014年「日本転倒予防学会」発足時から広報担当を引き継いでいる。広報委員会の主な業務は当会ホームページの管理運営であり、会員を含む転倒予防に関わる人達への情報発信である。ホームページは2012年にコンテンツ管理システム（CMS）を導入し、2014年の当会発足に合わせてホームページのリニューアルを行った。併せて、アクセス数や属性などのアクセス解析の実施を開始した。また、2021年にも大幅リニューアルを実施しセキュリティ強化のため常時SSL対応とした。ホームページへのアクセス数は当会の発展とともに順調に増加傾向にあり、2023年度のアクティブユーザー数は5.3万人、総表示回数は

22万回となっている。

2011年開始の転倒予防川柳に関わる事業は2022年より広報委員会に業務移管された。2022年は川柳募集を断念したが、2023年より厚生労働省（共催）とともに「転倒予防川柳2023」および「転倒予防川柳2024」を主催運営している。

今後もホームページにおいて必要な情報発信を継続しつつ、ほかの委員会との共同企画（学術委員会：転倒予防実践ガイド、教育研修委員会：転倒予防指導士応援リーエッセイなど）を充実させていく予定である。

## 事業委員会



### 委員長：山本 創太

芝浦工業大学デザイン工学部デザイン工学科教授

事業委員会は、転倒予防医学研究会より推奨品認定事業を継承し、転倒予防とそれに関わる傷害の予防に資する製品、サービスを社会に広く認知、活用していただくことで、転倒予防の実現を目指して活動してきた。これまで多くの企業から、機能性の高いパンツ、転倒リスクを低減する履物、転倒・転落の検知システム・サービス、運動機能の測定や効果的な運動を補助することによる転倒リスク低減を図る機器類、転倒・転落が発生した場合の衝撃を吸収するパッドやマット、床材などの提案を受け、専門的な知識を持つ本会会員により認定審査を行ってきた。認定された推奨品には学会推奨品マークをパッケージやチラシ、WEBサイトに掲示していただいている。

また、教育研修委員会が取り組んでいる「転倒予防指

導士」養成事業と連携し、2017年より「転倒予防指導士活動推奨事業」を展開してきた。これは転倒予防指導士が地域で取り組む転倒予防活動を支援することを目的としており、転倒予防活動の企画や運営の支援を含め、転倒予防指導士の継続的な活動を支えていきたいと考えている。

本会が目指す転倒予防は、本会だけの活動で実現できるものではないと考えている。多くの人々に転倒予防の重要性をご理解いただき、個々人が自身の転倒予防に努めていただくことが必要である。本委員会は今後も転倒予防への関心と理解を広め、転倒予防に取り組んでいただくための支援に取り組んでいく。

## 学術委員会



委員長：山田 実

筑波大学人間系教授

転倒予防研究の歴史は古く、60年以上前から国際的に広く展開されてきた。この発展を受け、当学会では20年前にその前身となる研究会が立ち上がり、この間、わが国の転倒予防研究をリードしてきた。一方で、依然として転倒・骨折は社会保障費に大きな影響を及ぼし続けており、学術的知見を臨床実践へと橋渡しすることが強く求められるようになった。そして、この役割を託されたのが学術委員会である。

「社会から転倒を減らしていく」、この大きな課題に対して、学術的側面より向き合うのが学術委員会である。転倒予防に関わるすべての方に、転倒予防の適切な情報を届け、転倒予防の実践につなげる。本委員会では、この好循環を雪だるま式に拡大させることで、社会から転

倒を減らすことを目指している。

当委員会の活動は、まさに「巨人の肩の上に立つ」。60年以上の歴史のある転倒予防研究において、多くの先人達が築き上げてきた業績に基づき、臨床実践に必要な情報整理を行っている。具体的には、転倒予防ガイドの作成や転倒アセスメントツールの整理などである。いずれも、文献調査に基づくものであるが、そこに領域の専門家・実践家の目というフィルターを通すことにより、現場目線での有益な情報へと変換している。

転倒予防研究を発展させてきたこれまでの20年、次の20年は社会から求められる学会となることを約束したい。

### ■各委員会の主な担当事業

2025年4月1日現在

|         |                                                                                                                                                                                    |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 編集委員会   | <ul style="list-style-type: none"> <li>『日本転倒予防学会誌』編集（投稿論文査読・採否審査、特集企画）</li> <li>「優秀論文賞」「若手研究奨励賞」選定</li> <li>同誌の転載許諾対応</li> </ul>                                                   |
| 教育研修委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「転倒予防指導士」養成と育成支援（基礎講習会開催、認定）</li> <li>生涯研修会開催・認定</li> <li>ホームページ「リレーエッセイ」広報委員会との共同企画</li> <li>「転倒予防指導士活動推奨事業」事業委員会との共同企画</li> </ul>         |
| 広報委員会   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ管理運営・情報発信</li> <li>「転倒予防川柳」企画（2023年より厚生労働省と共催）</li> <li>ホームページ「リレーエッセイ」教育研修委員会との共同企画</li> <li>ホームページ「転倒予防実践ガイド」事業委員会との共同企画</li> </ul> |
| 事業委員会   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「推奨品」審査・認定</li> <li>「転倒予防指導士活動推奨事業」教育研修委員会との共同事業</li> </ul>                                                                                 |
| 学術委員会   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ「転倒予防実践ガイド」広報委員会との共同企画</li> <li>「転倒アセスメントツール」の整理</li> </ul>                                                                           |

ホームページ「リレーエッセイ」2025年4月



ホームページ「転倒予防実践ガイド」2025年4月



## ■ 準機関誌から機関誌へ

2004 年転倒予防医学研究会発足から、第 1 回、第 2 回、さらに第 4 回研究集会報告の一部を、Osteoporosis Japan へ掲載。



2007 年、学術誌『身体教育医学研究』(ISSN 1345-6962) (毎年 1 号発行)

第 8 巻より 2013 年発行の第 14 巻までを、身体教育医学研究所および身体教育医学研究所うんなんとの共同発行にて、転倒予防医学研究会の準機関誌として位置付けた。



2014 年、日本転倒予防学会発足とともに、機関誌『日本転倒予防学会誌 Japanese Journal of Fall Prevention 略称 JJFP』(ISSN 1345-6962, Online ISSN 2188-5710) を年 3 号発行 (第 2 号は、学術集会プログラム・抄録集)。

準機関誌であった『身体教育医学研究』に引き続き、J-STAGE への論文掲載継続。同年メディカルオンラインへの全誌掲載契約、国際医学情報センター図書資料館への所収。2017 年、科学技術振興機構文献データベース登録。2018 年、医学中央雑誌刊行会と文献利用許諾契約、サンメディアへの複製許諾契約。

2021 年、地球環境に配慮した「持続可能な開発目標 (SDGs)」への積極的な取り組みへの切り替えという世界的な流れに沿うことになり、『日本転倒予防学会誌』第 8 巻より、WEB 化。ただし、学術集会のプログラム・抄録集のみ冊子体として残し、現在に至っている。

## ■ 書籍



1999 年 12 月『転倒予防教室—転倒予防への医学的対応—』武藤芳照、黒柳律雄、上野勝則、太田美穂 編 (日本医事新報社)

「転倒予防教室」全スタッフにより執筆、刊行。それまでに培ってきた「教室」の企画・運営に関わるほとんどすべての学術的知見と情報を整理して公開。



2001 年『武藤教授の転ばぬ教室—寝たきりにならないために—』武藤芳照 著 (暮らしの手帖社)

一般市民向けの健康図書。「転倒予防教室」の趣旨・理念を骨格に、ヒトはなぜ転ぶのか、転びやすい人の特徴は、転倒を予防するための暮らしの知恵は何かなど、大切なことをわかりやすく、面白く伝える教育・啓発資料として工夫。



2002 年 12 月『転倒予防教室—転倒予防への医学的対応—』(第 2 版) 武藤芳照、黒柳律雄、上野勝則 編 (日本医事新報社)

初版の骨格を保ちつつ、実践活動と学術研究の最新の知見とを加えて構成した。わずか 3 年で新版を上梓できるだけの強固なチームワークの賜物。



2006 年 7 月『高齢者指導に役立つ「転倒予防の知識と実践プログラム」』武藤芳照 著 (日本看護協会出版会)

転倒予防の基礎知識に始まり、具体的な体操・運動プログラムや実践事例に加えて、現場に役立つ転倒予防のためのソフト・ハードの情報等を、それぞれの専門家・実践家により、図・表・イラスト・写真を多用して、わかりやすく解説。特別付録：高齢者の転倒予防に効果的な“太極拳を応用したリズム運動「川の流れるように」”実演映像 DVD 付き。



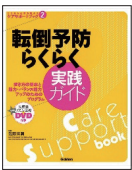
2006 年『転ばぬ先の知恵』転倒予防医学研究会 発行（朝日エル制作）

自治体や各地の転倒予防教室などで、活用できるよう、転倒予防についての小冊子を発行。



2008 年 8 月『転倒予防医学百科』武藤芳照 編（日本医事新報社）

地域在住高齢者、病院内の疾病・障害のある高齢者、介護・福祉施設に入所する虚弱高齢者、認知症高齢者等、そして、未来を支え動かすはずの子どもの転倒予防を取り扱う。



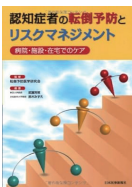
2009 年 4 月『転倒予防らくらく実践ガイド』武藤芳照 監修（学習研究社）

学研メディカル事業部が企画・制作していた「こころと生活を支えるケアサポートブック」シリーズの第 2 巻。高齢者ケアに携わる看護師や介護職員の知識・技術のレベルアップのための視覚に訴える誌面構成。巻末付録 DVD「太極拳リズム体操」（監修：武藤芳照／協力・指導：身体教育医学研究所・身体教育医学研究所うんなん）。



2010 年 10 月『ここまでできる 高齢者の転倒予防』武藤芳照 総監修（日本看護協会出版会）

2006 年発行の『転倒予防の知識と実践プログラム』の内容を大幅にリニューアル。高齢者の転倒予防に関わる医療・介護・福祉・スポーツ等の分野の指導者・専門家向けに転倒予防の実践的理論と具体的な運動・生活指導の方法・内容・注意を解説。「川の流れのように」に合わせた太極拳風リズム体操の DVD 付き。



2011 年 8 月『認知症者の転倒予防とリスクマネジメント』転倒予防医学研究会 監修 武藤芳照、鈴木みずえ 編（日本医事新報社）

実践的 Q&A 形式で認知症の人・家族に対する具体的対応を述べ、医療関係者はもとより認知症の高齢者を抱える家族にとっても役立つ内容。転倒予防は可能なのか、医療スタッフと家族へのコミュニケーションはどうとっていくか（入院・入所時の説明、認知症への対応、それぞれの施設におけるケア状況）、数多くの事例、コラムほか。



2012 年 10 月『転倒予防いろはかるた』転倒予防医学研究会 監修（日本看護協会出版会）

2008 年 6 月、家の中や屋外、病・医院、介護施設等、さまざまなところで起こった「転倒」のエピソードや、転ばないための知恵や工夫などの詠み句を新聞などで公募。延べ 119 件、総計 1,272 句が集まり選定、さらに一部あらたな句も加え、48 句の詠み句のカルタが完成し、関係する病・医院、介護施設等に配布。2012 年に書籍化。



2013 年 6 月『転倒予防－転ばぬ先の杖と知恵』（岩波新書）武藤芳照 著（岩波書店）

「老化は足から、転倒はいのちに対する身体からの黄色信号」。自信と希望をもち、生きる力を取りもどすため、いつまでも丈夫な足で歩きつづける。転んでもケガをしない、転倒に負けない身体づくりの基本を伝授する一般書。



2013 年 10 月『いくつになっても「転ばない」5つの習慣』武藤芳照 著（青春出版社）

将来、寝たきりにならず一生自分の足で生きていくために、高齢者ばかりでなく働き盛りの世代からの転倒予防の方法を具体的にまとめた一般書。



2014 年 9 月『「転ばぬ体操」で 100 歳まで動ける！』武藤芳照 監修（主婦の友生活シリーズ）

60 歳を過ぎて始める（もちろん 40 歳ぐらいから始めてほしい）、転倒予防のあれこれをビジュアルで展開。杖のつき方を間違っている人が 8 割という現実。悪い足とは反対側につく、杖をついての階段の昇降、そんな基本情報も丁寧に紹介。巻頭には女優、松金よね子さんとの対談収録。



2014 年 10 月『認知症者の転倒予防とリスクマネジメント』（第 2 版）日本転倒予防学会 監修 武藤芳照，鈴木みずえ 編（日本医事新報社）

第 1 版の内容を最新の情報を加えアップデートし、新たな Q&A 21 項目や「失敗事例から学ぶ転倒予防のヒント」「認知症に絡む診療報酬のまとめ」などの追加により、さらに詳しく実践的な内容へ。



2016 年 10 月『転倒予防白書 2016』日本転倒予防学会 監修 武藤芳照，鈴木みずえ，原田敦 編（日本医事新報社）

転倒・転落に関する統計，疫学，各種取り組み，資格・試験などの制度面から，患者指導，施設整備，リスク評価，運動療法などの臨床面までを網羅。



2016 年 10 月『多職種で取り組む転倒予防チームはこう作る！』日本転倒予防学会 監修 武藤芳照，鈴木みずえ，饗場郁子 編著（新興医学出版社）

高齢者の転倒予防はより多くの職種が関わるほど，より効果的な予防対策に結びつく。各分野の転倒予防スペシャリストたちが編み出した「成果につながるチームの知恵」。病院で，施設で，今日から多職種協働の「転倒予防チーム」をつくり上げるためのヒントを紹介。



2016 年 10 月『五七五転ばぬ先の知恵ことば 転倒予防川柳 2011 - 15』日本転倒予防学会 監修 武藤芳照 選評（論創社）

日本転倒予防学会により公募が始まった 2011 年から 15 年までの入賞作（大賞，佳作）に，さらに準佳作を加え，一気に紹介。



2017 年 7 月『日本転倒予防学会認定転倒予防指導士公式テキスト Q & A』日本転倒予防学会 監修 武藤芳照，奥泉宏康，北湯口純 編著（新興医学出版社）

高齢者に関わるあらゆる人が，転倒予防のスペシャリストになれるよう創設されたのが日本転倒予防学会認定の「転倒予防指導士」制度。非医療者にもわかりやすい，転倒予防対策の基礎から実践までが詰まった，初の公式テキストブック。



2017年10月『認知症者の転倒予防とリスクマネジメント』（第3版）日本転倒予防学会 監修 武藤芳照，鈴木みずえ，原田敦 編（日本医事新報社）

最新情報を加えアップデートし，さらに詳しく実践的な内容に。



2019年10月『転倒予防白書 2019』日本転倒予防学会 監修 武藤芳照，鈴木みずえ，原田敦 編（日本医事新報社）

3年前に刊行された。当会初の公式テキスト，150頁増の改訂。



2021年2月『あの人も転んだ この人も転んだー転倒嘸と予防川柳ー』日本転倒予防学会 監修 武藤芳照 著（三恵社）

ツタンカーメン，源頼朝，小林一茶をはじめとする歴史の中の偉人・著名人から，若尾文子，志位和夫，美川憲一など現代に活躍する人物に至るまでの，転倒・転落事例を医学的に解説。また，「転倒予防川柳」の入選作の中から，それぞれの川柳に込められた転ばぬ先の知恵を，やさしく，ふかく，おもしろく解説。



2021年3月『神経疾患患者の転倒予防マニュアル』日本転倒予防学会 監修 饗場郁子，鯨島直之，武藤芳照 編著（新興医学出版社）

運動・感覚・認知機能が障害されやすい神経疾患患者は，特に転倒・転落に見舞われる可能性が高い。各神経疾患における転倒の特徴とその予防のポイントをはじめ，転倒予防グッズの紹介・環境整備の方法などを具体的かつ視覚的に解説。



2023年3月『転倒予防白書 2023』武藤芳照，鈴木みずえ，萩野浩，大高洋平 編（日本医事新報社）

公式テキストの内容をさらに充実させて大改訂。転倒予防グッズ・システム開発の最新動向のほか，病院における転倒予防チームの活動例，転倒リスクを高める疾患と予防への対策など臨床現場ですぐに役立つ実践的な内容を加え，アップデート，全596頁。



2023年4月『高齢労働者のための転倒・転落事故防止マニュアル』日本転倒予防学会 監修 武藤芳照，萩野浩，三上容司，竹下克志 編著（新興医学出版社）

従来労働災害の少なかった分野でも，高齢労働者が占める割合が高まるにつれて労働災害が増加し，対応が急務となっている。医療従事者，労働安全研究者，社労士，弁護士などが現況ならびに事故予防に向け何ができるかを示し，人事労務担当者には必見。



2024年9月『転倒予防のプロが教える正しい杖の使い方ー変形性膝関節症，リウマチ，パーキンソン病，脳卒中，フレイルなどー』日本転倒予防学会 監修 武藤芳照，浅見豊子，黒柳律雄，内田泰彦，高杉紳一郎，上内哲男 編著（新興医学出版社）

これまでほとんど刊行されたことがない，「杖の正しい使い方」を示す。杖の種類ごとに備わっている機能・効果，持ち方・合わせ方，さらには運動器や脳・神経に関する疾患ごとに，どのような杖をどう使用すればいいのかなど，医療的な杖の使用に役立つ知識。

●教育、啓発、人材育成 (1) 転倒予防指導者養成講座から転倒予防指導士基礎講習会へ

■転倒予防指導者養成講座

|        | 開催日                           | 開催地、会場                             | 修了者数 (名) | 参加費      |
|--------|-------------------------------|------------------------------------|----------|----------|
| 第 1 回  | 2005 年 5 月 21 日 (土) 22 日 (日)  | 岩手県盛岡市ふれあいランド岩手                    | 40       | 30,000 円 |
| 第 2 回  | 2005 年 11 月 26 日 (土) 27 日 (日) | 宮崎市(財)弘潤会野崎東病院アスレティックリハビリテーションセンター | 60       | 税込       |
| 第 3 回  | 2006 年 5 月 13 日 (土) 14 日 (日)  | 東京都中野区東京大学教育学部附属中等教育学校             | 60       |          |
| 第 4 回  | 2007 年 3 月 3 日 (土) 4 日 (日)    | 大分県湯布院町湯布院厚生年金病院                   | 60       |          |
| 第 5 回  | 2007 年 5 月 12 日 (土) 13 日 (日)  | 東京都中野区東京大学教育学部附属中等教育学校             | 60       |          |
| 第 6 回  | 2007 年 11 月 17 日 (土) 18 日 (日) | 北海道札幌市 f クリニックさっぽろ※定員 24 名         | 20       |          |
| 第 7 回  | 2008 年 5 月 24 日 (土) 25 日 (日)  | 東京都中野区東京大学教育学部附属中等教育学校             | 60       |          |
| 第 8 回  | 2008 年 11 月 29 日 (土) 30 日 (日) | 兵庫県神戸市神戸学院大学総合リハビリテーション学部          | 57       | 会員       |
| 第 9 回  | 2009 年 5 月 23 日 (土) 24 日 (日)  | 静岡県浜松市浜松医科大学医学部看護学科                | 50       | 28,000 円 |
| 第 10 回 | 2009 年 11 月 28 日 (土) 29 日 (日) | 東京都中野区東京大学教育学部附属中等教育学校             | 60       | 税込       |
| 第 11 回 | 2010 年 5 月 22 日 (土) 23 日 (日)  | 東京都中野区東京大学教育学部附属中等教育学校             | 60       |          |
| 第 12 回 | 2010 年 11 月 20 日 (土) 21 日 (日) | 鳥取県米子市鳥取大学医学部 (臨床講義棟 2F ほか)        | 60       | 非会員      |
| 第 13 回 | 2011 年 5 月 21 日 (土) 22 日 (日)  | 熊本市医療法人社団寿量会熊本機能病院                 | 47       | 30,000 円 |
| 第 14 回 | 2011 年 11 月 26 日 (土) 27 日 (日) | 東京都中野区東京大学教育学部附属中等教育学校             | 48       | 税込       |
| 第 15 回 | 2012 年 6 月 9 日 (土) 10 日 (日)   | 東京都中野区東京大学教育学部附属中等教育学校             | 59       |          |
| 第 16 回 | 2012 年 11 月 24 日 (土) 25 日 (日) | 長野県佐久市佐久大学                         | 38       |          |
| 第 17 回 | 2013 年 5 月 25 日 (土) 26 日 (日)  | 広島県東広島市東広島市総合福祉センター                | 69       |          |
| 第 18 回 | 2013 年 11 月 23 日 (土) 24 日 (日) | 東京都中野区東京大学教育学部附属中等教育学校             | 51       |          |
|        |                               |                                    | 計 959    |          |

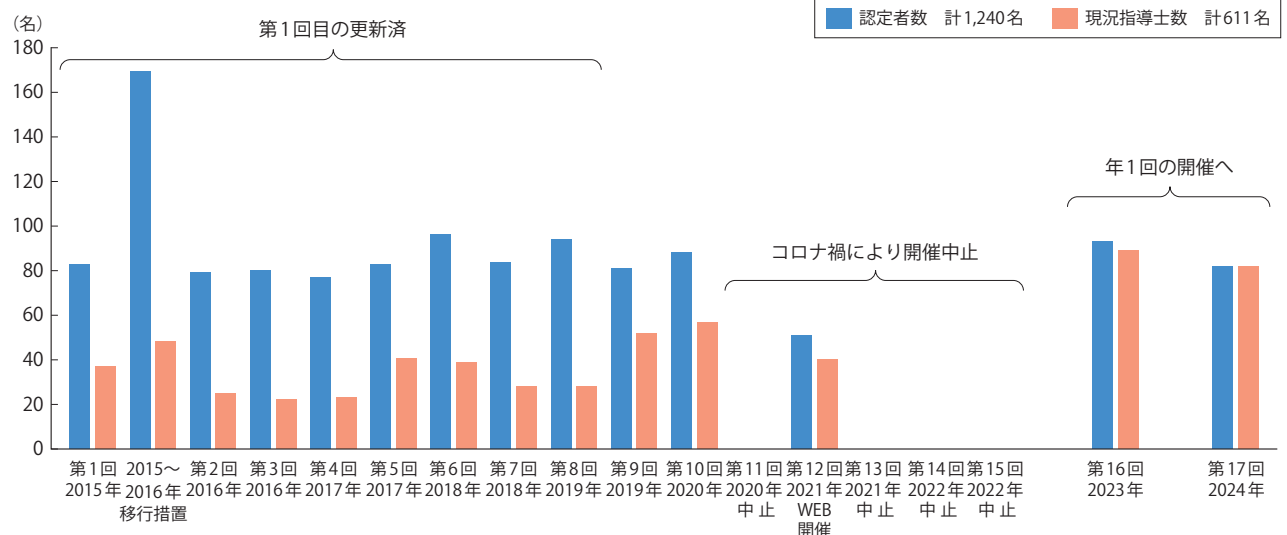
■転倒予防指導士基礎講習会

2025 年 4 月 1 日現在

|        | 開催日 (2 日目が指導士認定日)                                                                               | 開催地、会場                                                                       | 参加費                                  | 認定者数 (名) | 非更新者数 (退会者含む) (名) | 現況指導士数 (名) |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|----------|-------------------|------------|
| 第 1 回  | 2015 年 2 月 7 日 (土) 8 日 (日)                                                                      | 東京都台東区ヒューリックカンファレンス浅草橋 (ROOM1)                                               | 39,000 円<br>税別                       | 83       | 46                | 37         |
| 移行措置   | 認定日<br>2015 年 7 月 1 日, 9 月 1 日,<br>11 月 9 日, 12 月 24 日,<br>2016 年 2 月 5 日, 3 月 24 日,<br>4 月 1 日 | 転倒予防医学研究会「転倒予防指導者養成講座」修了者 959 名のうち、<br>日本転倒予防学会会員対象に、転倒予防指導士認定移行措置通信試験<br>実施 | 5,000 円<br>税込                        | 169      | 121               | 48         |
| 第 2 回  | 2016 年 2 月 13 日 (土) 14 日 (日)                                                                    | 東京都台東区ヒューリックカンファレンス浅草橋 (ROOM1)                                               |                                      | 79       | 54                | 25         |
| 第 3 回  | 2016 年 7 月 30 日 (土) 31 日 (日)                                                                    | 京都市京都テルサ (東館 2 階セミナー室)                                                       |                                      | 80       | 58                | 22         |
| 第 4 回  | 2017 年 2 月 11 日 (土) 12 日 (日)                                                                    | 東京都台東区ヒューリックカンファレンス浅草橋 (ROOM1)                                               |                                      | 77       | 54                | 23         |
| 第 5 回  | 2017 年 7 月 29 日 (土) 30 日 (日)                                                                    | 京都市京都テルサ (1 日目: 東館 2 階セミナー室, 2 日目: 3 階大会議室)                                  |                                      | 83       | 42                | 41         |
| 第 6 回  | 2018 年 2 月 10 日 (土) 11 日 (日)                                                                    | 東京都中野区コンgresスクウェア中野 (ホール)                                                    |                                      | 96       | 57                | 39         |
| 第 7 回  | 2018 年 7 月 28 日 (土) 29 日 (日)                                                                    | 京都市京都テルサ (東館 2 階セミナー室)                                                       |                                      | 84       | 56                | 28         |
| 第 8 回  | 2019 年 2 月 9 日 (土) 10 日 (日)                                                                     | 東京都中野区 中野セントラルパークカンファレンス (ホール)<br>※第 6 回開催コンgresスクウェア中野と同会場 (名称変更)           | 39,000 円<br>税別                       | 94       | 66                | 28         |
| 第 9 回  | 2019 年 7 月 27 日 (土) 28 日 (日)                                                                    | 京都市京都テルサ (東館 2 階セミナー室)                                                       |                                      | 81       | 29                | 52         |
| 第 10 回 | 2020 年 2 月 8 日 (土) 9 日 (日)                                                                      | 東京都中野区中野セントラルパークカンファレンス (ホール)                                                |                                      | 88       | 31                | 57         |
| 第 11 回 | 中止京都                                                                                            | -                                                                            |                                      | -        | -                 | -          |
| 第 12 回 | 2021 年 2 月 19 日 (土) 20 日 (日)                                                                    | ※ WEB 開催                                                                     |                                      | 51       | 11                | 40         |
| 第 13 回 | 中止京都                                                                                            | -                                                                            |                                      | -        | -                 | -          |
| 第 14 回 | 中止東京                                                                                            | -                                                                            |                                      | -        | -                 | -          |
| 第 15 回 | 中止京都                                                                                            | -                                                                            |                                      | -        | -                 | -          |
| 第 16 回 | 2023 年 7 月 22 日 (土) 23 日 (日)                                                                    | 東京都江東区芝浦工業大学豊洲キャンパス本部棟 2403 教室                                               | 39,000 円+<br>1,000 円 (認定<br>証カード) 税別 | 93       | 4                 | 89         |
| 第 17 回 | 2024 年 7 月 27 日 (土) 28 日 (日)                                                                    | 東京都江東区芝浦工業大学豊洲キャンパス本部棟 2403 教室                                               |                                      | 82       | -                 | 82         |
|        |                                                                                                 |                                                                              | 計                                    | 1,240    | 629               | 611        |

■転倒予防指導士認定者数

2025 年 4 月 1 日現況数



## ●教育、啓発、人材育成 (2) 顕彰

### ■転倒予防大賞 (2005～2013)

啓発目的のため、研究会発足後2年目から学会移行まで、計9回の『転倒予防大賞』の顕彰を行った。『**学術部門**』『**実践部門**』『**わたしの工夫部門**』の各賞を設け、転倒予防に関する学術的研究や実践活動の成果、ならびに一般の方に対しては日常生活の中での工夫など、大賞・奨励賞などを選定し、研究集会にて発表・授賞した。

第7回(2011年度)からは、「わたしの工夫部門」に代わって、「**転倒予防川柳**」の公募を開始し、現在に至っている。(本誌p30 転倒予防川柳入選作品参照)

### ■転倒予防大賞

|                  | 受賞部門     | 受賞者および受賞団体名                                                                                                                                                                                  | 題名                                                                               |
|------------------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回<br>(2005年)   | 学術部門     | 大賞<br>渡邊 具子 (大阪市立大学大学院医学研究科整形外科臨床研究実験チーム)                                                                                                                                                    | ヒッププロテクターによる大腿骨頸部骨折の予防<br>-Randomized control trial-                             |
|                  |          | 奨励賞<br>吉田 光由 (広島大学大学院歯歯薬学総合研究科先端歯科補綴学研究室)                                                                                                                                                    | 認知症高齢者における転倒と咬合との関係                                                              |
|                  |          | 奨励賞<br>樋口 由美 (大阪府立大学総合リハビリテーション学部)                                                                                                                                                           | 地域在住男性高齢者における転倒恐怖感が社会的活動性に及ぼす影響                                                  |
|                  | 実践部門     | 大賞<br>大高 洋平 (慶友整形外科病院)                                                                                                                                                                       | 病院と地域それぞれにおける転倒予防                                                                |
|                  |          | 奨励賞<br>江口 泰正 (福岡県福津市健康福祉総合センター(ふくとびあ)健康増進室)                                                                                                                                                  | アレンジも楽しむ「てんととうし体操」の創作                                                            |
|                  |          | 奨励賞<br>富山県入善町役場健康福祉課保健センター (代表 小柳 直美)                                                                                                                                                        | 富山県入善町の『元気わくわく教室』の取り組み                                                           |
| 第2回<br>(2006年)   | 学術部門     | 選考委員長特別賞<br>矢野 高正 (湯布院厚生年金病院リハビリテーション室)                                                                                                                                                      | 地域リハビリテーション支援体制整備推進事業における転倒予防事業への取り組み                                            |
|                  |          | 大賞<br>兵庫県神戸市 野間 健三                                                                                                                                                                           | 転倒予防の素々・いきいき体操                                                                   |
|                  |          | 奨励賞<br>東京都立川市 清水 初代                                                                                                                                                                          | 「転ばない」ための「私の工夫」                                                                  |
|                  | 実践部門     | 大賞<br>北湯口 純 (身体教育医学研究所うなん)                                                                                                                                                                   | 「シルバー大学」における運動開始年齢の違いが移動能力の終年推移に及ぼす影響                                            |
|                  |          | 奨励賞<br>原詠 美子 (慶友整形外科病院)                                                                                                                                                                      | 地域在住高齢者における睡眠導入剤服用の実態と転倒歴                                                        |
|                  |          | 大賞<br>ソルソル路面転倒防止委員会 (代表 鈴木 英樹)                                                                                                                                                               | 多機関連携による冬季積雪路面での転倒防止に向けた取り組み                                                     |
| 第3回<br>(2007年)   | 学術部門     | 奨励賞<br>水戸市保健センター (代表 海老沢 明子)                                                                                                                                                                 | 「水戸転(こ)けないばやし」                                                                   |
|                  |          | 大賞<br>劇団「ころばーず」 代表 井上 本子                                                                                                                                                                     | 劇団「ころばーず」奮闘記                                                                     |
|                  |          | 奨励賞<br>埼玉県鳩ヶ谷市 駒崎 高造                                                                                                                                                                         | 我が家はバリアがいっぱい                                                                     |
|                  | 実践部門     | 大賞<br>高取 克彦 (畿央大学健康科学部理学療法学科)                                                                                                                                                                | 脳卒中片麻痺患者における安定性限界の知覚誤差について                                                       |
|                  |          | 大賞<br>村山 明彦 (介護老人保健施設シオンよこはま)                                                                                                                                                                | 当施設認知症棟における転倒予防マネジメント構築のための検討～先行研究結果に基づいた仮説の検証～                                  |
|                  |          | 奨励賞<br>該当なし                                                                                                                                                                                  | 該当なし                                                                             |
| 第4回<br>(2008年)   | 学術部門     | 大賞<br>多摩区みんなの公園体操運営委員会                                                                                                                                                                       | ～転倒予防体操“多摩区みんなの公園体操”を地域に根づかせるために～                                                |
|                  |          | 奨励賞<br>身体教育医学研究所うなん                                                                                                                                                                          | 小学生を対象とした家族で行う転倒予防・健康づくり体操体験授業の取り組み                                              |
|                  |          | 映像部門<br>映像賞<br>該当なし                                                                                                                                                                          | 該当なし                                                                             |
|                  | 実践部門     | 奨励賞<br>水見市民病院転倒予防グループ                                                                                                                                                                        | 「プリンスナビ」転倒予防体操の普及活動～キャラバン隊による施設訪問～                                               |
|                  |          | 大賞<br>兵庫県神戸市 松下 敏子                                                                                                                                                                           | 転倒予防は「心掛け」が大切                                                                    |
|                  |          | 奨励賞<br>長崎県諫早市 鎮守 賢治                                                                                                                                                                          | 風呂場での転倒防止 (入浴用サポーター)                                                             |
| 第5回<br>(2009年)   | 学術部門     | 大賞<br>小池 達也 (大阪市立大学)                                                                                                                                                                         | アレンドロネート製剤はビタミンD活性化を促進して転倒を抑制する                                                  |
|                  |          | 奨励賞<br>林原 雅子 (鳥取大学医学部整形外科)                                                                                                                                                                   | 前向き調査による関節リウマチ患者の転倒頻度と予測因子                                                       |
|                  |          | 大賞<br>尾倉 朝美 (三田市民病院)                                                                                                                                                                         | 三田市における転倒予防教室の取り組み～教室終了後の運動継続を目的に～                                               |
|                  | 実践部門     | 奨励賞<br>マツダ株式会社安全健康推進部健康推進センター(代表 川越 隆)                                                                                                                                                       | 職場における転倒予防活動～中高齢労働者の安全を守るために～                                                    |
|                  |          | 大賞<br>神奈川県横浜市 印南 房吉                                                                                                                                                                          | 杖に灯りを付けて                                                                         |
|                  |          | 大賞<br>山田 実 (京都大学大学院医学研究科)                                                                                                                                                                    | Trail Walking Exercise には転倒予防効果があるのか? 特定高齢者を対象としたRCT                             |
| 第6回<br>(2010年)   | 学術部門     | 奨励賞<br>全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会医療安全委員会                                                                                                                                                          | 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者のための転倒リスクアセスメントシート の開発～全国多施設回復期リハビリテーション病棟におけるデータ解析による検討～ |
|                  | 実践部門     | 大賞<br>岡山市古都学区 & 老人保健施設古都の森                                                                                                                                                                   | 岡山市古都学区における産・民・学の連携による転倒予防教室への取り組み～古都式体操の実践と参加者に満足していただける転倒予防教室づくり～              |
|                  |          | 奨励賞<br>関西医科大学附属枚方病院転倒予防研究チーム                                                                                                                                                                 | 新しい転倒予測スコア (みまもりスコア) の開発と検証                                                      |
|                  | わたしの工夫部門 | 選考委員長特別賞<br>身体教育医学研究所うなん                                                                                                                                                                     | 鳥根県雲南市における地域運動指導員による転倒予防への取り組み                                                   |
|                  |          | 大賞<br>京都府京都市 満生 紀子                                                                                                                                                                           | 過ぎし日を振り返って                                                                       |
|                  |          | 大賞<br>田中 武一 (京都大学大学院医学研究科)                                                                                                                                                                   | 慢性期病棟における転倒とリスクファクターに関する前向きコホート研究                                                |
| 第7回<br>(2011年度)  | 学術部門     | 奨励賞<br>三谷 菅雄 (清水病院リハビリテーション科)                                                                                                                                                                | 転倒による大腿骨近位部骨折患者における再骨折の危険因子～Retrospective cohort studyを通して～                      |
|                  | 実践部門     | 大賞<br>さっぽろウィンターライフ推進協議会<br>北の暮らしと地域ケア研究会 鈴木 英樹                                                                                                                                               | 市民参加による冬季転倒事故の防止に向けた取り組み～つるつる路面特派員と砂まきサポーターの活動を中心に～                              |
|                  |          | 奨励賞<br>沖田病院リハビリテーション科<br>斎藤 勇一, 齊藤 純一, 藤井 健司                                                                                                                                                 | 在宅での入浴スタイルの変化～在宅への洗える畳の導入～                                                       |
|                  | わたしの工夫部門 | 大賞<br>大阪府四条畷市 森山 和好                                                                                                                                                                          | 転倒防止に関する私の取り組み                                                                   |
|                  |          | 奨励賞<br>神奈川県川崎市 佐甲 信雄                                                                                                                                                                         | 転ばぬ先のアスレチック                                                                      |
|                  |          | 大賞<br>山田 実 (京都大学大学院医学研究科)                                                                                                                                                                    | 軽度認知機能低下者における脳萎縮と転倒・運動機能・認知機能との関連                                                |
| 第8回<br>(2012年)   | 学術部門     | 奨励賞<br>朴 相甲 (韓国: 東亜大学)                                                                                                                                                                       | 24 週間の複合運動が転倒回避能力および運動器機能と炎症性サイトカインに及ぼす影響                                        |
|                  | 実践部門     | 大賞<br>国立病院機構東名古屋病院てんとうぼうしチーム                                                                                                                                                                 | 自作川柳による転倒予防啓発活動の効果                                                               |
|                  |          | 奨励賞<br>二戸市役所                                                                                                                                                                                 | 二戸市での高齢者運動器機能検診を取り入れた健康事業の取り組み                                                   |
|                  | わたしの工夫部門 | 選考委員長特別賞<br>札幌市立大学札幌市立立園小学校                                                                                                                                                                  | 小学校低学年児童を対象とした転倒予防の取組～教科体育での取組から地域在住高齢者の転倒予防拠点の形成に向けて～                           |
|                  |          | 大賞<br>2011 年以降は、「わたしの工夫部門」から「転倒予防川柳」(p30 参照) へ。                                                                                                                                              |                                                                                  |
|                  |          | 大賞<br>牧迫 飛雄馬 (国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター自立支援開発研究部自立支援システム開発室)                                                                                                                                | 軽度認知障害を有する高齢者の運動機能低下および脳萎縮と将来の転倒発生との関連                                           |
| 第9回<br>(2013年度)  | 学術部門     | 奨励賞<br>高取 克彦 (畿央大学健康科学部理学療法学科)                                                                                                                                                               | 周辺症状 (BPSD) からみた認知症病棟における転倒・転落事故の特性                                              |
|                  | 実践部門     | 奨励賞<br>一般財団法人日本自動車研究所, 株式会社特殊衣料                                                                                                                                                              | 転倒時の頭部外傷発生予防に効果的な頭部保護帽の開発                                                        |
|                  |          | 大賞<br>亀田リハビリテーション病院転倒転落防止対策委員会                                                                                                                                                               | 当院における転倒転落予防に関する近年の取り組み                                                          |
|                  | わたしの工夫部門 | 大賞<br>J-FALLS 研究グループ (養場 郁子)                                                                                                                                                                 | 要介護者における転倒による重篤な有害事象発生率および関連要因の検討～医療・介護を要する在宅患者の転倒に関する多施設共同前向き研究～                |
|                  |          | 奨励賞<br>北地 志行 (藤田保健衛生大学大学院保健学研究科リハビリテーション学領域)                                                                                                                                                 | 歩行時外乱刺激に対する姿勢制御反応の運動学的評価～両側分離型トレッドミルによる模擬スリップに対する定常時と荷物運搬時の比較～                   |
|                  |          | 奨励賞<br>国立長寿医療研究センター看護部外来 (サブレ森田 さゆり)                                                                                                                                                         | 転倒歴のある高齢者糖尿病患者の特徴                                                                |
| 第10回<br>(2014年度) | 学術部門     | 大賞<br>桑垣 佳苗 (埼玉慈恵病院リハビリテーション科)                                                                                                                                                               | 当院の転倒・転落事故予防について～理学療法士の専門性を活かした予防活動の報告～                                          |
|                  | 実践部門     | 大賞<br>2014 年学会発足時、『転倒予防大賞』は、『学術賞、その他の賞』へと改められ、会員の優れた学術研究活動・教育啓発活動の顕彰・奨励を目的として、『学会賞』『優秀論文賞』『若手研究奨励賞』『社会啓発賞』の各賞を設けた。『日本転倒予防学会誌』掲載の原著論文を対象に選定される『優秀論文賞』『若手研究奨励賞』については、毎年、学術集会にて、前年度の授賞発表を行っている。 |                                                                                  |
|                  |          | 『学会賞』については、2022 年、初代理事長武藤芳照さんが受賞。                                                                                                                                                            |                                                                                  |
|                  | わたしの工夫部門 | 大賞<br>2022 年、初代理事長武藤芳照さんが受賞。                                                                                                                                                                 |                                                                                  |
|                  |          |                                                                                                                                                                                              |                                                                                  |
|                  |          |                                                                                                                                                                                              |                                                                                  |

■日本転倒予防学会学術賞

| 年度   |         | 氏名     | 所属                                    | 論文タイトル (和文)                                                                                            | 論文タイトル (英文)                                                                                                                                                                                                                                                              | 共著者                                                                        | 『日本転倒予防学会誌』掲載巻・号 |
|------|---------|--------|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 2014 | 優秀論文賞   | 小林 吉之  | 独立行政法人産業技術総合研究所                       | 公共空間における転倒の実態解明を目指した異常検出技術の評価に関する研究                                                                    | Assessment of Abnormal Detection Technology Aimed for the Clarification of the Causes of Falls in Public Area                                                                                                                                                            | 柳澤 孝文, 坂無 英徳, 野里 博和, 高橋 栄一, 持丸 正明                                          | 第1巻第1号           |
|      | 若手研究奨励賞 | 北地 志行  | 医療法人鉄友会宇野病院リハビリテーション部                 | 歩行時模擬スリッパ刺激に対する姿勢制御反応の運動学的評価～手提げ運搬の有無による比較～                                                            | Kinematic Assessment of Postural Control during Simulated Slips while Walking: A Comparison with and without Carrying a Handbag                                                                                                                                          | 寺西 利生, 田辺 茂雄, 伊藤 慎英, 宮下 大典, 大野 健介, 周 蘊韜, 高橋 亮吾, 金田 嘉清                      | 第1巻第1号           |
| 2015 | 優秀論文賞   | 饗場 郁子  | 国立病院機構東名古屋病院神経内科                      | 要介護者における転倒による重篤な外傷の発生頻度および特徴～医療・介護を要する在宅患者の転倒に関する多施設共同前向き研究 (J-FALLS)～                                 | Incidence and Characteristics of Fall-related Serious Injuries in Patients under Long-term Care Insurance ~ Japanese Prospective Fall Study in Elderly Patients under Home Nursing Care (J-FALLS) ~                                                                      | 齋藤 由扶子, 吉岡 勝, 松尾 秀徳, 藤村 晴俊, 乾 俊夫, 川井 充, 飛田 宗重, 千田 圭二, 金子 真理子, 松田 直美, 玉腰 暁子 | 第2巻第1号           |
|      | 若手研究奨励賞 | 川村 皓生  | 小山田記念温泉病院                             | 虚弱高齢者に対する温泉足浴が、転倒、運動機能および自律神経機能に与える効果の検証                                                               | The Effect of Natural Hot Spring Foot Baths on Falls, Physical Function and Autonomic Function in Frail Older Adults                                                                                                                                                     | 島崎 博也, 出口 晃, 浜口 均, 荒井 秀典                                                   | 第2巻第1号           |
| 2016 | 優秀論文賞   | 二瓶 美里  | 東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻              | 転倒の内的要因分析に基づく転倒頻度予測手法の提案                                                                               | Proposal of a Method to Predict Fall Frequency Based on Internal Factor Analysis                                                                                                                                                                                         | 岡田 哲明, 鎌田 実                                                                | 第3巻第1号           |
|      | 若手研究奨励賞 | 初瀬川 弘樹 | 医療法人社団生和会彩都リハビリテーション病院                | 回復期リハビリテーション病棟における歩行自立判定シートの作成                                                                         | Development of an Assessment Sheet for Gait Independence in the Rehabilitation Unit                                                                                                                                                                                      | 山田 実, 菊井 将太, 湊 哲至, 出村 愼, 中野 恭一, 木本 真史                                      | 第3巻第3号           |
| 2017 | 優秀論文賞   | 小林 吉之  | 国立研究開発法人産業技術総合研究所人間情報研究部門             | 高齢転倒経験者における歩行中のつま先高さの軌跡の特徴                                                                             | Toe Height Trajectory Characteristics of the Gait of Elderly Fallers                                                                                                                                                                                                     | 高柳 直人, 須藤 元喜, 仁木 佳文, 持丸 正明                                                 | 第4巻第1号           |
|      | 若手研究奨励賞 | 該当者なし  |                                       |                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                            |                  |
| 2018 | 優秀論文賞   | 油野 規代  | 公立小松大学保健医療学部看護学科                      | 終末期がん患者の生存期間1か月間の転倒要因                                                                                  | Causes of Falls in Terminal Cancer Patients that Occurred During a One-Month Period                                                                                                                                                                                      | 加藤 真由美, 桂 英之, 小泉 由美, 山崎 松美, 正源寺 美穂                                         | 第5巻第3号           |
|      | 若手研究奨励賞 | 山本 悠太  | 国立病院機構東名古屋病院リハビリテーション科                | 転倒による骨折後患者における回復期リハビリテーション病棟入院時の栄養状態が日常生活動作能力及び自宅復帰率に及ぼす影響：後ろ向きケースコントロール研究                             | The Influence of Nutritional Status at the Time of Hospitalization for Convalescent Rehabilitation Wards in Patients after Fracture Caused by Falling on Activities of Daily Living Ability and Rate of Discharge to Home: Retrospective Case-Control Study              | 高松 泰行, 金子 真理子, 饗場 郁子                                                       | 第5巻第1号           |
| 2019 | 優秀論文賞   | 篠崎 未生  | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター神経内科部             | 認知機能の低下した高齢入院患者における移動能力の認識・判断過程～誤判断に伴う転倒の認知モデル～                                                        | Self-Perception and Judgment of Mobility among Elderly Hospitalized Patients with Cognitive Decline: Cognitive Model of Falls Caused by Impaired Judgment                                                                                                                | 山本 成美, 柿家 真代, 梶田 真子, 太田 隆二, 谷本 正智, 山岡 朗子, 竹村 真里枝, 佐竹 昭介, 近藤 和泉, 新畑 豊       | 第6巻第1号           |
|      | 若手研究奨励賞 | 該当者なし  |                                       |                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                            |                  |
| 2020 | 優秀論文賞   | 鈴木 みずえ | 浜松医科大学臨床看護学講座                         | 介護老人保健施設ケアスタッフに対するパーソン・センタード・ケアに基づく転倒予防教育プログラム～北陸地方における認知症高齢者の転倒予防効果の検証と認知症の行動心理症状 (BPSD) 高群に対する介入の検討～ | A Fall Intervention Programme for the Elderly with Dementia based on Person-centred Care: Effects of the Fall Situation of Elderly People with Dementia and the Intervention for High Group of the Behavior Psychology Symptom of Dementia (BPSD) in the Hokuriku Region | 加藤 真由美, 谷口 好美, 平松 知子, 丸岡 直子, 金盛 琢也, 内藤 智義, 泉 キヨ子, 金森 雅夫                    | 第7巻第3号           |
|      | 若手研究奨励賞 | 該当者なし  |                                       |                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                            |                  |
| 2021 | 優秀論文賞   | 古賀 秀信  | 株式会社麻生飯塚病院臨床研究支援室                     | 入院時口腔ケア助の必要性と入院中の転倒との関連～過去起点コホート研究～                                                                    | Relationship between the Need for Oral Care Assistance on Admission and Falls during Hospitalization: Retrospective Cohort Study                                                                                                                                         | 伊藤 悠介, 佐々木 彰, 福村 文雄, 森山 由香, 野田 佐代美, 樋口 圭子, 久保 佳子, 井村 洋                     | 第8巻第1号           |
|      | 若手研究奨励賞 | 該当者なし  |                                       |                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                            |                  |
| 2022 | 優秀論文賞   | 稲井 卓真  | 国立研究開発法人産業技術総合研究所健康医工学研究部門くらし工学研究グループ | 転倒経験者と非転倒経験者を判別するための最適な歩行特徴の特定～足部クリアランス測定部位の違いと遊脚期の最大・最小クリアランスに着目して～                                   | Optimal Gait Feature Identification to Distinguish Fallers and Non-Fallers based on "Difference in Foot Clearance Measurement Position" and "Minimum and Maximum Clearances during the Swing Phase"                                                                      | 小林 吉之, 中嶋 香奈子, 澤澤 岳, 工藤 将馬, 二瓶 史行, 中原 謙太郎, 黄 晨暉, 藤田 浩二, 山本 皓子              | 第9巻第2号           |
|      | 若手研究奨励賞 | 該当者なし  |                                       |                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                            |                  |
| 2023 | 優秀論文賞   | 内山 昌代  | 浜松医科大学医学部看護学科臨床看護学講座                  | 地域在住高齢者の転倒予防セルフケア行動の実態・因子構造・関連要因                                                                       | Self-care Behaviors, Actual Conditions, Factor Structure, and Related Factors for Fall Prevention among Communitydwelling Older Adults                                                                                                                                   | 鈴木 みずえ, 金盛 琢也                                                              | 第10巻             |
|      | 若手研究奨励賞 | 谷 佳成恵  | 帝京科学大学大学院医療科学研究科                      | 住宅型有料老人ホーム入居高齢者における転倒と身体・認知機能との関連性に関する横断研究                                                             | A Cross-sectional Study of the Association between Falls and Physical and Cognitive Function among Older Adults in a Residential Private Nursing Home                                                                                                                    | 津田 彰, 村田 伸                                                                 | 第10巻             |

●教育、啓発、人材育成 (3) 日本転倒予防学会転倒予防川柳入選作品

| 年度                                             | 応募総数   | 授賞       | 作品（作者）                                  |
|------------------------------------------------|--------|----------|-----------------------------------------|
| 2011 年                                         | 914 句  | 大賞       | 口先の 元気に 足が追いつかず（埼玉県 掛川 二葉）              |
|                                                |        | 佳作       | 敏捷の 記憶が 足をもつれさせ（愛知県 八木 航）               |
|                                                |        | 佳作       | 意地を捨て 転ばぬ先の 杖を持つ（東京都 酒井 具視）             |
|                                                |        | 佳作       | 外出は 余裕を持って 杖持って（奈良県 脇本 啓子）              |
| 2012 年                                         | 601 句  | 大賞       | コケるのは ギャグだけに してお父さん（兵庫県 奥田 明美）※ 1       |
|                                                |        | 佳作       | ばあさんや 用心に手を つなごうか（神奈川県 福島 敏朗）※ 1        |
|                                                |        | 佳作       | 足からの 老気付かぬ 口達者（東京都 信原 聡）※ 1             |
|                                                |        | 佳作       | 杖持とう 説得までに 骨が折れ（兵庫県 あまの雀）               |
| 2013 年                                         | 331 句  | 佳作       | つまづきは 老気知らせる SOS（大阪府 吉川 恭子）             |
|                                                |        | 大賞       | あがらない 年金こづかい つま先が（静岡県 石川 芳裕）※ 6 ※ 7     |
|                                                |        | 佳作       | 転ばずに 笑い転げて 老いの坂（神奈川県 福島 敏朗）             |
|                                                |        | 佳作       | 頬を染め よろめくからと 手をつなぎ（東京都 三田村 美枝子）         |
| 2014 年                                         | 1734 句 | 大賞       | つまづいた むかしは恋で いま段差（長崎県 福島 洋子）※ 3 ※ 6 ※ 7 |
|                                                |        | 佳作       | 母の日に 息子が杖を そっと出し（東京都 和智 貞子）             |
|                                                |        | 佳作       | 携帯の ながらでこけて 怪我メール（北海道 鎌田 誠）             |
|                                                |        | 佳作       | 鴨居みて 敷居忘れて 転けかけて（徳島県 北内 康文）             |
| 2015 年                                         | 1897 句 | 佳作       | 孫なつき 足がふらつき つえをつき（東京都 飯田 輝貴）            |
|                                                |        | 大賞       | 滑り止め つけておきたい 口と足（東京都 佐川 晶子）※ 2          |
|                                                |        | 佳作       | 壁ドンの つもりつまずき 床にドン（東京都 赤羽 慶正）            |
|                                                |        | 佳作       | 転んでも 只では 起きず 一句読み（千葉県 松田 まさる）           |
| 2016 年                                         | 2705 句 | 佳作       | 消えていく 足の感覚 妻の愛（埼玉県 拝生 眞佑）               |
|                                                |        |          | 類似作品判明し、受賞ご辞退                           |
|                                                |        | 佳作       | ああ無情 滑り止めに つまづいて（東京都 稲川 久美子）            |
|                                                |        | 佳作       | よろめきは むかし屋メロ いまは足（千葉県 伊東 真）             |
| 2017 年<br>川柳公募要項策定                             | 1642 句 | 佳作       | つなぐ手の あるあたたかさ 老い二人（奈良県 山元 洋子）           |
|                                                |        | 佳作       | 転倒で 骨おらぬよう 骨を折る（愛知県 松永 智文）              |
|                                                |        | 大賞       | 離さない 昔は君で 今は杖（愛知県 井深 靖久）※ 4 ※ 5 ※ 7     |
|                                                |        | 佳作       | 滑りどめ つけて今度は つまづいて（福岡県 成田 のり子）           |
| 2018 年<br>川柳公募要項改訂                             | 1971 句 | 佳作       | こけるのは いつも父さん 美女のそば（北海道 清水 利章）           |
|                                                |        | 佳作       | 「ぬかづけ」を 守って元気に 糠漬ける（鹿児島県 牧瀬 隆）          |
|                                                |        | 大賞       | つまづきは 孫は分数 祖母段差（栃木県 青柳 婦美子）             |
|                                                |        | 佳作       | よくすべる 靴とジョークに 気をつけて（東京都 山下 良治）          |
| 2019 年                                         | 2371 句 | 佳作       | 怖いもの 地震かみなり 火事転倒（愛知県 山田 和彦）             |
|                                                |        | 佳作       | 飲み会の シメの言葉が 転ぶなよ（千葉県 小関 早苗）             |
|                                                |        | 大賞       | クラス会 終わって杖の 探し合い（愛知県 さごじょう）             |
|                                                |        | 佳作       | 登りより 下りが怖い これ怪談（栃木県 竹内 博年）              |
| 2020 年                                         | 3264 句 | 佳作       | もつれてる 昔色恋 今は脚（東京都 井上 榮）                 |
|                                                |        | 佳作       | 飲み過ぎて ギャグですべて 夜道で転ぶ（東京都 田中 一弥）          |
|                                                |        | 大賞       | 密減らし 増やしたいのは 骨密度（兵庫県 田村 功）※ 6           |
|                                                |        | 佳作       | オレオレと 段差は油断も スキもない（静岡県 柳谷 益弘）           |
| 2021 年                                         | 798 句  | 佳作       | マスクして 杖を忘れて つまづいて（神奈川県 丸山 朋夫）           |
|                                                |        | 佳作       | ひっかかる 前に確認 サギ、段差（埼玉県 高野 由美）             |
|                                                |        | 大賞       | いつまでも 密と思うな 骨と愛（神奈川県 佐々木 恭司）            |
|                                                |        | 佳作       | 転倒も ワクチン予約も 骨折れる（神奈川県 ついにジー）            |
| 2022 年                                         | 募集休止   | 佳作       | しっかりと 握る年金 杖、手すり（栃木県 宮のふみ）              |
|                                                |        | 佳作       | 同窓会 ハート震えず 足震え（静岡県 野田 静子）               |
|                                                |        | 佳作       | 時は過ぎ 昔よろめき 今よろけ（大阪府 馬場 和義）              |
|                                                |        | 選外佳作     | 杖いらぬ 意地を張ったら 松葉杖（茨城県 チュー犬ジョン）           |
| 2023 年<br>広報委員会へ業務移管<br>厚生労働省との共催へ<br>川柳公募要項改訂 | 382 句  | 選外佳作     | あげ足は とらず自分の 足あげて（長崎県 大浦 和範）             |
|                                                |        | 大賞       | スマホより 手すりを持って 上り下り（愛媛県 のほほん）※ 6         |
|                                                |        | 厚生労働省特別賞 | こけかけた 床見たけれど 何も無し（徳島県 羽場 ゆり子）           |
|                                                |        | 佳作       | 物価より 上がってほしい 俺の足（奈良県 荒流戯亭卯白）            |
| 2024 年                                         | 937 句  | 佳作       | 段差なし 何故かつまづき 老いを知る（鹿児島県 吉 哉郎）           |
|                                                |        | 佳作       | つまづきを 支えてくれる 妻と杖（石川県 わたあめ）              |
|                                                |        | 準佳作      | どうやって 転べばここに 擦過傷（東京都 波多床丸）              |
|                                                |        | 大賞       | ちらかった へやにころがる ものわたし（和歌山県 小野 莉歩）※ 7      |
| 2025 年                                         | 募集休止   | 厚生労働省特別賞 | なぜここで 脚力低下 知る勇気（神奈川県 西川 只幸）             |
|                                                |        | 佳作       | 手をつなぐ 昔聴かずし 今必死（埼玉県 吉野 信幸）              |
|                                                |        | 佳作       | 衰えを 畳のヘリが 狙ってる（静岡県 桃李）                  |
|                                                |        | 準佳作      | 気をつける すこしの段差と オレオレに（島根県 まろりん）           |

■転倒予防川柳関連書籍発刊、他誌、メディア等への採用

2012 年 10 月 10 日 朝日新聞（日刊）東京版コラムにて紹介 3 句（表中※ 1）

2015 年 NHK ごごナマ 知ったク！コーナーにて 1 句（表中※ 2）採用

2016 年 書籍発刊『五七五 転ばぬ先の 知恵ことば』2012～2015 上記入賞作品に、準佳作（選には漏れたが、最終選考に残ったもの）221 句を加え、収録

2016 年 12 月 『週刊新潮』五木寛之さん連載「生き抜くヒント」にて 4 句（表中※ 3）採用

2013 準佳作 なぜコケる 老いの自覚が 追いつかず（新潟県 荒井 千代子） 2014 準佳作 骨折は 骨だけでなく 心折る（兵庫県 岸川 文子）

2015 準佳作 つまづいて 身より心が 傷ついて（神奈川県 横溝 彩子）

2017 年 11 月 7 日 TBS テレビ『東大王』にて 1 句（表中※ 4）採用

2018 年 さいたま市高齢者の転倒予防リーフレット『高齢者の足元が危ない』にて 4 句採用

2013 準佳作 古希で知る 二足歩行の 難しさ（神奈川県 西村 嘉浩） 2014 準佳作 おととつと 口でバランス 取りました（東京都 住野 寿一）

2014 準佳作 身の回り 転ばぬ先の お片づけ（奈良県 村上 三佐子） 2015 準佳作 怖くなる 怪談よりも 階段が（奈良県 小林 和幸）

2021 年 書籍発刊『あの人も転んだ この人も転んだ—転倒嚙と予防川柳—』

2021 年 2 月号『月間薬事』『地域薬局における転倒・転落予防対策』1 句（表中※ 5）採用

2024 年 要介護状態区分が要支援に認定された札幌市民へのチラシにて 4 句（表中※ 6）採用

2024 年 10 月 TBS 系列【健康カプセル！ゲンキの時間】にて 4 句（表中※ 7）採用

●教育、啓発、人材育成 (4) 推奨品一覧 (2006 年初代～ 2025 年 3 月現在)

|    | 企業                                                          | 商品                                                | カテゴリー         | 採用年                      | 登録期間     |
|----|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|---------------|--------------------------|----------|
| 1  | サン・ビーム株式会社                                                  | ステッキ (GINZA シリーズ)                                 | 杖             | 2006 年 10 月 10 日         | ～ 2007 年 |
| 2  | 新東サーブラスト株式会社                                                | サーブラスト工法                                          | 路面            | 2007 年 10 月 1 日          | ～ 2008 年 |
| 3  | 株式会社特殊衣料                                                    | 保護帽 アボネットシリーズ                                     | 帽子            | 2007 年 10 月 1 日          | ～ 2008 年 |
| 4  | 花王株式会社                                                      | リリーフパンツタイプ 安心のうす型                                 | 下着            | 2008 年 4 月 1 日           | ～ 2024 年 |
| 5  | 花王株式会社                                                      | リリーフパンツタイプ たつぷり長時間                                | 下着            | 2009 年 4 月 1 日           | ～ 2024 年 |
| 6  | テルモ株式会社                                                     | テルモ転倒予防くつ下                                        | くつ下           | 20012 年 2 月 1 日          | ～ 2017 年 |
| 7  | テルモ株式会社                                                     | テルモヒッププロテクター マモリーナ                                | ヒッププロテクター     | 2012 年 11 月 1 日          | ～ 2017 年 |
| 8  | フィリップス・レスピロニクス合同会社                                          | フィリップス緊急通報サービス                                    | センサー          | 2013 年 1 月 1 日           | ～ 2015 年 |
| 9  | 株式会社ノダ                                                      | 衝撃吸収フロア ネクシオ<br>⇒カナエル C 衝撃吸収フロア VC (商品名変更 2023/4) | 床材            | 2013 年 2 月 1 日           | 継続中      |
| 10 | ネスレ日本株式会社 ネスレヘルスサイエンスカンパニー                                  | リソース® ペムパルアクティブ®                                  | 食品            | 2013 年 4 月 1 日           | ～ 2017 年 |
| 11 | 株式会社カネカ                                                     | カネカヒッププロテクター                                      | ヒッププロテクター     | 2013 年 6 月 1 日           | ～ 2023 年 |
| 12 | 花王株式会社                                                      | リリーフパンツタイプ 超うす型 まるで下着                             | 下着            | 2015 年 4 月 1 日           | 継続中      |
| 13 | 花王プロフェッショナル・サービス株式会社                                        | リリーフ超うすリハパン                                       | 下着            | 2016 年 4 月 1 日           | ～ 2024 年 |
| 14 | 徳武産業株式会社                                                    | あゆみ 早快マジック (レギュラー / オープン)                         | 履物            | 2016 年 4 月 1 日<br>(条件付き) | 継続中      |
| 15 | 株式会社イノアックコーポレーション                                           | ロコモマット                                            | 運動機能改善        | 2016 年 4 月 1 日           | ～ 2022 年 |
| 16 | 株式会社エナジーフロント                                                | プラスパッドジーンズ                                        | ヒッププロテクター     | 2016 年 4 月より             | ～ 2020 年 |
| 17 | 株式会社日本シューター                                                 | 転倒危険度評価システム Step+                                 | 評価システム        | 2016 年 4 月 1 日より         | ～ 2020 年 |
| 18 | パナソニック株式会社<br>くらしアプライアンス社                                   | ひざトレナー                                            | 運動機能改善        | 2016 年 4 月 1 日<br>(条件付き) | ～ 2024 年 |
| 19 | 光研化成株式会社 ⇒<br>アクションジャパン株式会社<br>(2023.4.1 ～)                 | アルティマテリアルシリーズ ワンダーマット                             | 床マット          | 2018 年 4 月 1 日           | 継続中      |
| 20 | アサヒシューズ株式会社                                                 | 快歩主義 L011                                         | 履物            | 2018 年 4 月 1 日           | 継続中      |
| 21 | 株式会社竹虎                                                      | 転倒予防シューズ (つま先つき, つま先なし)                           | 履物            | 2018 年 4 月 1 日<br>(条件付き) | 継続中      |
| 22 | 花王株式会社                                                      | リリーフパンツタイプ たつぷり吸収                                 | 下着            | 2018 年 4 月 1 日           | ～ 2024 年 |
| 23 | 住友電気工業株式会社                                                  | Q'z TAGTM walk                                    | 評価システム        | 2018 年 4 月 1 日           | ～ 2021 年 |
| 24 | ミドリ安全株式会社                                                   | プレミアムコンフォートシリーズ (PRM シリーズ)                        | 履物            | 2019 年 4 月 1 日           | ～ 2023 年 |
| 25 | エーザイ株式会社 &<br>株式会社 FRONTEO<br>⇒株式会社 FRONTEO<br>(2024/4/1 ～) | Coroban® ⇒<br>KIBIT Coroban (商品名変更 2024/4/1)      | 評価システム (記録解析) | 2020 年 4 月 1 日           | 継続中      |
| 26 | 株式会社マリアンヌ製靴                                                 | SaiSai フットメカニクスシリーズ                               | 履物            | 2022 年 4 月 1 日           | 継続中      |
| 27 | ことほ株式会社<br>⇒株式会社 Bee Edge (2023.2.1 ～)                      | らくらくバランス                                          | 運動機能改善        | 2022 年 4 月 1 日           | ～ 2023 年 |
| 28 | 株式会社ナム                                                      | ステップバランストレーナー                                     | 運動機能改善        | 2022 年 4 月 1 日           | ～ 2024 年 |
| 29 | 凸版印刷株式会社⇒ TOPPAN 株式会社<br>(社名変更 2023.11.20)                  | TOPPAN 安全床                                        | 床材            | 2022 年 9 月 1 日           | 継続中      |
| 30 | 株式会社 Magic Shields                                          | ころやわ                                              | 床材            | 2023 年 4 月 1 日           | 継続中      |
| 31 | キング通信工業株式会社                                                 | シルエット見守りセンサ                                       | センサー          | 2024 年 4 月 1 日           | 継続中      |
| 32 | 健幸ライフ株式会社                                                   | あしふみ健幸ライフ (標準タイプ, 溝入りタイプ, 溝入り・計測器付タイプ)            | 運動機能改善        | 2024 年 8 月 1 日           | 継続中      |

■推奨品マーク

2014 年学会発足時, 「シンボルマーク」とともに「推奨品マーク」作成を株式会社中西元男事務所 (PAOS) へ依頼



## 記念日

### ●「10月10日転倒予防の日」

2005年8月22日、テン・トウにちなんで10月10日を「転倒予防の日」に制定し、日本記念日協会（長野県佐久市）に登録。さらに、高齢者に限らず、広い意味で転倒予防を考える日にするために、読売・朝日新聞への広告掲載（2005年より2018年まで年1回発行）を行った。

## 登録商標

### ●「健脚度」 第4752854号（第9類、第16類、第41類、第44類）

2004年3月5日 商標登録 商標権者：武藤芳照（転倒予防医学研究会）

2024年12月21日 商標権者変更：公益財団法人身体教育医学研究所へ

1995年の鳥根県吉田村および1996年の長野県北御牧村（現東御市）で行った、厚生省（当時）長寿科学総合研究事業（班長：九州大学杉岡洋一教授）での疫学調査の結果から、高齢者の転倒が、肥満や動脈硬化に象徴されるような生活習慣のひずみの結果として生ずる現象として捉えられるという新たな知見が得られた。併せて、調査の際に用いた「健脚度」（歩く、またぐ、昇って降りるの3つの動作から高齢者の移動能力を測定・評価するもの）が、高齢者の転倒しやすさを評価する指標として有用であることが確認された。これらの研究成果を、雑誌『日本医事新報』（1997年11月8日号）に公表するとともに、高齢者の転倒を予防するためのシステム・プログラムを構築する作業が、東京大学大学院身体教育学講座、東京厚生年金病院及び身体教育医学研究所（東御市）の共同研究グループ内で開始された。この最初のフィールドワークで生まれた「健脚度」。現在も、各地域での転倒予防教室での測定が続けられている。長年研究グループ、運営スタッフで積み上げてきた知的財産保全のため、下記「転倒予防教室」、「スミちゃんマーク」と併せて商標登録。2024年、公益財団法人身体教育医学研究所へ「健脚度」の商標権を移転。

### ●「転倒予防教室」（デザイン文字） 第4759780号（第16類）



2004年3月26日 商標登録 商標権者：武藤芳照（日本転倒予防学会）

2024年3月26日 登録満了日をもって終了。

1997年12月に、東京厚生年金病院健康管理センターに、わが国初の「転倒予防教室」が創設。2004年3月、「教室」修了者は、全国各地から400名を超えるまでに至った。創設当初より、「教室」には数多くの視察者が訪れると同時に、各地への講演・指導の依頼が相次いだ。そこで、2000年2月、横浜市での保健師の指導講習会を皮切りに、全国各地で「一日転倒予防教室」を講義および実技指導の形で続け、2004年3月までに、計38回の巡回指導を行った。

それまでに培ってきた「教室」の企画・運営に関わるほとんどすべての学術的知見と情報を整理して公開した書籍が『転倒予防教室』。この書籍のデザイン文字を商標登録。

### ●「スミちゃん」キャラクター 第4752855号（第16類、第25類）

2004年3月5日 商標登録 商標権者：武藤芳照（転倒予防医学研究会）

2024年3月5日 登録満了日をもって終了



5回の転倒・骨折にもかかわらず、「一度も不幸だと思ったことがない」明るく前向きな姿勢で生きた東京厚生年金病院の「転倒予防教室」の参加者にちなんで命名。「七転び八起き」のだるまが、最初は一本杖をついていたが、今は杖もいなくなり、跳ぶこともできるというもの。これに転倒（10・10）の予防（stop）を加えて、「転倒予防」のロゴとした。併せて、バッジ、キーホルダー、バンダナ等々の関連グッズを企画。高橋（加藤）美絵さんのデザイン。

2024年「時代の役割を果たした」ことに加えて、「歴史の一つとして残し、皆様に自由にお使いいただいた方がよい」という考えのもと、「転倒予防教室」デザイン文字と併せて、商標登録終了。

### ●「シンボルマーク」 第5747363号（第16類、第25類）



2014年9月7日 商標登録 商標権者：武藤芳照（日本転倒予防学会）

2023年4月20日 商標権者変更：一般社団法人日本転倒予防学会へ

現在に至る

学会発足にあたり、中西元男さんに依頼して、新しいロゴ（シンボルマーク）のデザインが生まれた。また、推奨品マーク（本誌 p31）の中央部分には、このシンボルマークが使われている。マークに込めた思いは、本誌表紙裏参照。

### ●「転倒予防指導士」 第5752142号（第41類）

2015年3月20日 商標登録 商標権者：武藤芳照（日本転倒予防学会）

2023年4月20日 商標権者変更：一般社団法人日本転倒予防学会へ

現在に至る

2001年12月を皮切りに、東京厚生年金病院において、「転倒予防教室」の各部門のスタッフが参画して、全国からの医師、理学療法士、看護師、保健師、健康運動指導士、行政担当者等を集め5回にわたり開催した「指導者養成講習会」。2004年転倒予防医学研究会発足とともに、「転倒予防指導者養成講座」開催の体が整えられ、計18回開催（修了者959名）。この講座を基盤として、学会化とともに、2015年、広く社会に「転倒に対する正しい知識と経験」の啓発活動を行い、学術の発展とともに人々の健康増進に寄与することを目的として「転倒予防指導士」の認定制度を開始。同時に商標登録。（講座、講習会の詳細は p27 参照）

## 編集後記

一般社団法人日本転倒予防学会の20周年記念誌をお届けできることを、大変嬉しく思います。本記念誌は2004年4月からの「転倒予防医学研究会」としての10年間の活動、さらには2014年4月に「日本転倒予防学会」の設立から現在に至るまでの歩みを振り返り、転倒予防に関する研究と実践の成果をまとめたものです。この20年間、学会は多くの挑戦と成果を経験してきました。高齢者の転倒予防に関する啓発活動や、最新の研究成果の発表、そして実践的な予防策の普及に努めてきました。超高齢社会のわが国ではますます高齢者の転倒が注目されていますし、さらには学校教育や労働衛生の場における転倒予防も重要な課題となりました。学術集会でもこれらの課題に取り組み、社会においても重要な役割を果たしてまいりました。本学会の活動は、学会員の皆様の熱意と努力によって支えられてきました。

本記念誌の制作にあたり、多くの方々のご協力をいただきました。執筆者の皆様、制作委員会の皆様、そして学会員の皆様に心から感謝申し上げます。また、これまで学会を支えてくださったすべての方々に感謝の意を表します。

今後も、学会は転倒予防の研究と実践を通じて、高齢者も含めたすべての人々の安全と健康を守るために尽力してまいります。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

20周年記念誌制作委員会 編集委員長  
鈴木 みずえ

### ■ 20周年記念誌制作委員会

|        | 氏名     | 所属                                                      | 日本転倒予防学会における役職 |
|--------|--------|---------------------------------------------------------|----------------|
| 委員長    | 萩野 浩   | 独立行政法人労働者健康安全機構 山陰労災病院 病院長                              | 代表理事           |
| 編集委員長  | 鈴木 みずえ | 浜松医科大学臨床看護学講座 教授                                        | 副代表理事          |
| 副編集委員長 | 上内 哲男  | 独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 東京新宿メディカルセンター リハビリテーション室 理学療法士長 | 理事             |
| 編集委員   | 大高 洋平  | 藤田医科大学 医学部リハビリテーション医学講座 主任教授                            | 副代表理事          |
| 編集委員   | 梅原 里実  | 高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科 教授                                   | 業務執行理事         |
| 編集委員   | 岡田 真平  | 公益財団法人身体教育医学研究所 所長                                      | 業務執行理事         |
| 相談役    | 武藤 芳照  | 一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所 代表理事 / 所長                      | 初代理事長・名誉会員     |
| 事務     | 芦田 由可里 | 一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所                                | 元事務局           |
| 事務     | 和方 明日美 | 一般社団法人日本転倒予防学会                                          | 事務局            |
| 事務     | 甲斐 美和子 | 一般社団法人日本転倒予防学会                                          | 事務局            |

## 20 周年記念誌 一般社団法人日本転倒予防学会

---

令和 7（2025）年 7 月 1 日 発行

---

発行人：一般社団法人日本転倒予防学会  
20 周年記念誌制作委員会

発行人：〒 389-0402

住 所 長野県東御市布下 6-1 ケアポートみまき内

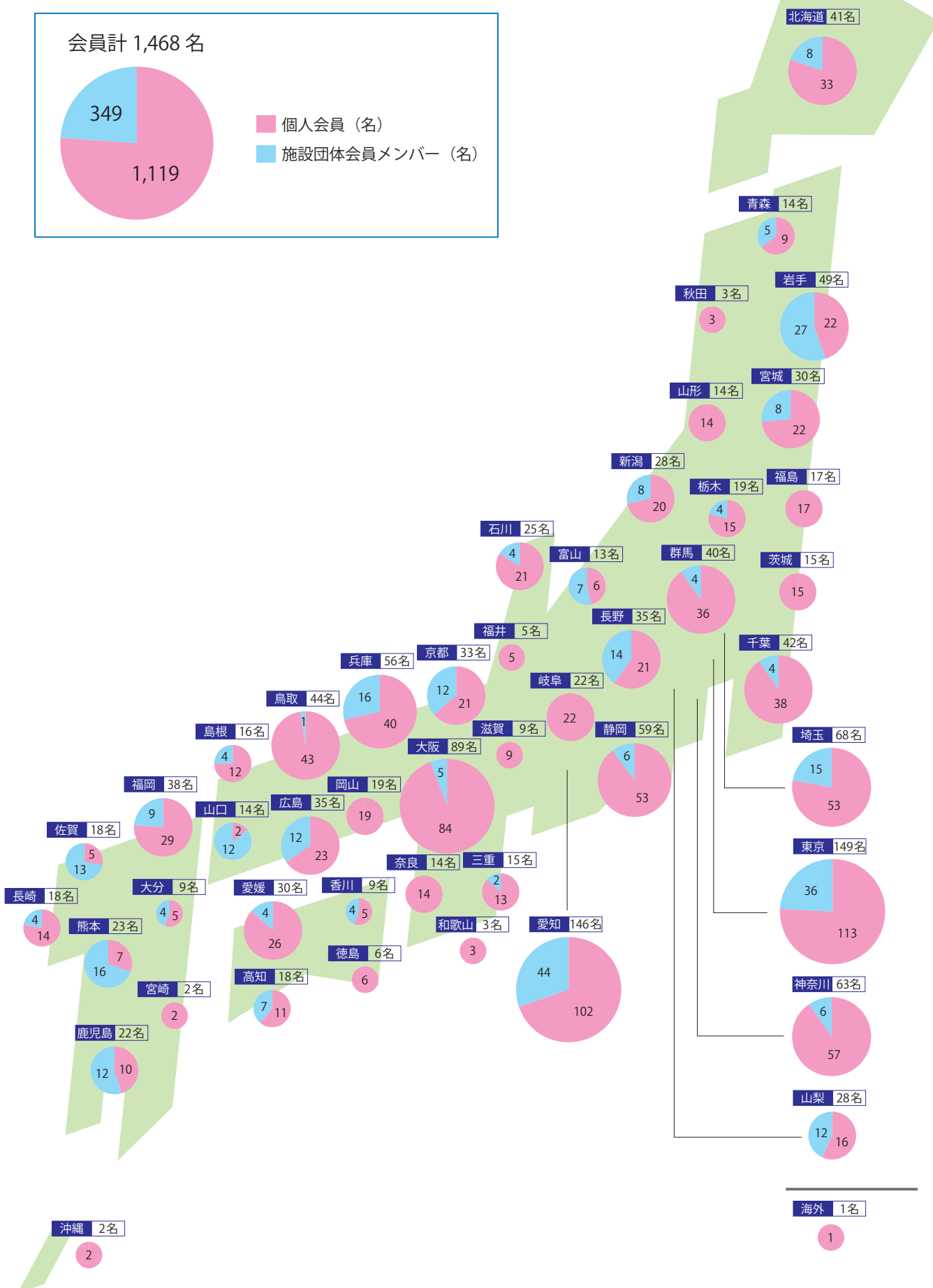
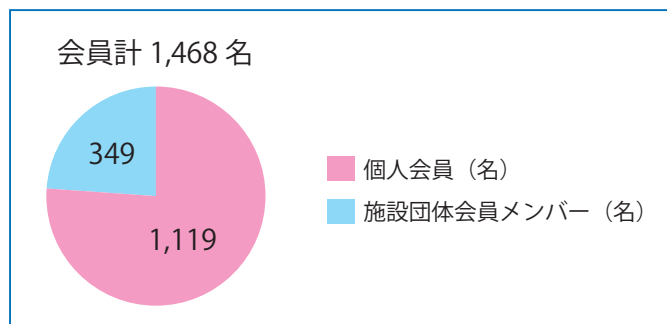
Email:jimukyoku@tentouyobou.jp

<https://tentouyobou.jp/>

制 作：株式会社さくら工芸社

---

都道府県別個人会員 / 施設団体会員 加入状況 2025 年 4 月 1 日現在



当法人は、転倒に関わる学際的研究を推進するとともに、  
転倒予防に関わる社会啓発活動を行い、  
もって学術の発展と人々の健康増進に寄与することを目的とする。

当法人は、目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学術集会の開催
- (2) 機関誌、図書その他の刊行
- (3) 転倒とその予防に関する教育・啓発および人材育成
- (4) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

## 20周年記念誌



一般社団法人日本転倒予防学会

〒389-0402 長野県東御市布下 6-1 ケアポートみまき内

Email: jimukyoku@tentouyobou.jp

<https://tentouyobou.jp/>